

福井大学医学部広報誌

くさリかう



No.89

APRIL / 2026

格致によりて
人と社会の未来を拓く



国立大学法人

福井大学

愛と医術で 人と社会を健やかに

With Love and Medicine,
Making People and Society Sound

真理を探究する知への愛

それは、古代ギリシャの哲学者プラトンや医学の父ヒポクラテスが最も信頼を寄せた愛、すなわち、自分自身の「無知」を自覚し、つねに真理の側へと身を置き、それを不断に求め続けることを自らに課す、極めて厳しい愛です。私たちは、最新の医学・看護学知識や技術を学び、修練すると共に、次世代の医学・看護学を開拓する研究を推進します。

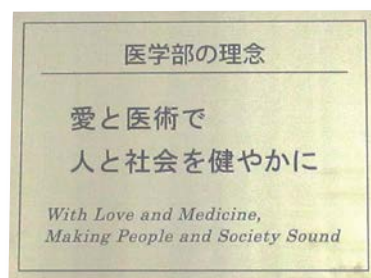
人命を尊重し人間に共感する人への愛

それは、病に臥しているようが無かるうが、日々の生活を営む人々のために自らの知識と知恵を捧げようと志す、徹底した無我の愛です。私たちはその具体的な姿を、福井藩蘭方医、笠原良策（白翁）（1809-1880）に見出します。笠原は、幕末まで死病として恐れられた天然痘の流行を食い止めるため、既存の医学や因習に囚われることなく、常に最先端の医学を探究し続けた「知への愛」の実践者であると同時に、自らの命を賭して種痘の普及と実施に尽力し、人と社会の健康に一生を捧げた人物に他なりません。私たちは、旧福井医科大学学歌に謳われた“杏林愛に芳しき”医療従事者や研究者を育成、輩出し、人と社会を健やかにする事に貢献します。

医学部理念を掲示しました

医学部理念は、2016年に医学部教職員、学生及び卒業生等から意見を募り、2017年4月、医学部理念「愛と医術で人と社会を健やかに」と制定しました。「理念」には「真理を探究する知への愛」と「人命を尊重し人間に共感する人への愛」の二重の意味が包含され、福井県及び福井大学医学部（前身の福井医科大学）の歴史を踏まえたものです。

講義棟玄関の合併講義室側の壁と、看護学科棟2階ラウンジ掲示板上方に、医学部理念を掲示しました。



もくじ CONTENTS >>>

寄稿

- | | | | |
|---|--|-----------|-------|
| 2 | 入学を祝して | 福井大学長 | 内木 宏延 |
| 3 | 歓迎のことば ～松岡キャンパスへようこそ～ | 医学部長・医学科長 | 菊田健一郎 |
| 4 | 歓迎の言葉 読書、芸術、恋、旅、あなたが打ち込めるものがあなたの人生を豊かにします。 | 医学部附属病院長 | 藤枝 重治 |
| 5 | 福井大学ではぐくむ、未来をつくるしなやかな力 | 看護学科長 | 四谷 淳子 |

新入生のみなさんへ

- 6 学生支援体制について
- 8 医学図書館へようこそ♪

健康・相談

- 10 松岡キャンパス 保健センターのご案内
- 12 令和8年度 学生定期健康診断等日程表
- 13 こころの健康について、考えてみませんか
- 14 学生総合相談室のご案内
- 15 キャンパス・ハラスメント防止のために

特集

- 16 基礎実習棟を改修しました
博士後期課程（看護学専攻）の設置について
- 17 看護学分野別評価
- 18 医師国家試験合格状況一覧
- 19 保健師・助産師・看護師国家試験受験状況一覧

定年退職教員紹介

- | | | |
|----|--------------------------|-------|
| 20 | 医学部の皆様、ありがとうございました | 夢田 浩 |
| 21 | 皆さんに、感謝！です | 松峯 昭彦 |
| 22 | 地元福井の地で歩んだ約四十年の軌跡 | 吉田 好雄 |
| 23 | 子どものころとともに歩んだ日々 ——感謝を込めて | 友田 明美 |

新任教員紹介

- 24 安部 力／大垣内 多徳／早稻田 優子／梅田 雄嗣／伏見 育崇／津田 真弘／小淵 岳恒
小椋 宗一郎／梅田 幸寛／尾内 隆行／水野 克俊／佐藤 さつき／森田 浩史／工藤 智明
稲村 聡／菅野 真史／高田 健次／高橋 直生／大西 秀典／玉 直人

トピックス

- 31 令和7年度学長表彰・医学部長表彰／卒業寄贈品／卓越学生の表彰
- 32 西医体 芸交祭
- 34 留学体験記
- 35 令和7年度 医学部授業日程

課外活動

- 36 部活動・サークル紹介
- 45 第46回 福井大学医学部「暁祭」について

寄附のお願い

- 46 ふるさと納税寄附のお願い・福井大学基金（羽ばたけ基金）へのご寄附のお願い
- 47 医学部後援会について

初期研修

- 48 医学部附属病院からのお知らせ

〈表紙の写真〉
「田園とフクイサウルス」
(医学科5年 小泉彩明(美術部))

〈裏表紙の写真〉
医師国家試験見送り
(松岡キャンパス学務課撮影)

入学を祝して

福井大学長 ない き ひろ のぶ 内木 宏延



新入生の皆さん、入学おめでとうございます。それぞれに大変であった受験勉強を乗り越え、志望校に無事合格を果たした喜びはさぞ大きいことと思います。ご家族や恩師を始め、皆さんを育み、支えて下さった全ての人々に対する感謝を忘れず、有意義な学生生活を送ることを心から希望します。

皆さんは今、大学生活や勉学に対する不安と共に、さまざまな希望や期待にあふれていることと思います。大学生活は一生のうちでもっとも輝かしく、濃密で意味深い時間だと思えます。神谷美恵子氏の言葉を借りれば、誰でも感受性と感動性が急激にたかまり、世界は色どりと輝きにみち、時間は未来に向かって無限にひらかれているように感じられます。青年のここは誇大的な自負心と極端な劣等感のあいだをゆれ動きながら、さまざまな活動を試みます。神谷氏はこれを“こころの飛躍”と呼んでいます。将来人の命に直接向き合うことになる医学部の学生である限り、しっかりと勉強しなければならないことは言うまでもありませんが、決して自らの可能性を限定してしまうようなことはせず、さまざまなことがらに果敢にチャレンジして下さい。多くの友人を作り、とことん語り合ってください。また、何でも良いですからサークルに入り、仲間たちとスポーツに励んだり、音楽活動を楽しんだりして下さい。大学時代に

培った友情は、皆さんにとって一生の宝になることでしょう。

このように皆さんの周りの社会や仲間に関心を持ち、働きかけると共に、どうぞ自分自身にも関心を持ち、内面世界に働きかけてみて下さい。皆さんがこの世の中に存在することに真の意味を与えることができるのは、実は皆さん自身なのです。辻 邦生氏の言葉を借りれば、私たちがこの世にあるということは、私たち一人ひとりに与えられた世界を、深く、意味深く生きることに他なりません。さまざまな本や絵画、音楽を通して先人達の悩みや考えに触れ、それらが皆さんの心の中に引き起こす“反響”に耳を澄ましてみて下さい。そのような出会いの一つひとつが皆さんの心を豊かにし、医療者として病める人々に共感する力を培ってくれるものと思います。

もう一つ伝えたいことがあります。皆さんは英語が好きですか？受験勉強で苦しめられたつらい思い出しかないかもしれませんね。インターネットが普及し、経済、文化はもちろん、医学の世界も驚くべき速さでグローバル化しています。世界中で皆さんと同世代の若者たちが、それぞれ希望に満ちて医学の勉強をスタートしました。そんな友人たちと、自分たちの過去や今、将来のさまざまなことを自由に語り合えたら、さぞ楽しいだろうと思いませんか？英語が嫌いな人も好きな人

も、どうぞ自分の英語を磨いて下さい。お金をかける必要はありません。例えば、自分の実力にあったNHK英会話テキストを購入し、毎日コツコツと、まるで歯磨きを欠かさないように続けてみて下さい。これから皆さんの生きていく世界は、皆さんの生まれ育った街や福井、日本だけではありません。英語が話せれば、皆さんの想像出来ない、楽しく心ときめく世界が皆さんの前に開けて来ると思います。頑張ってください。

私は学長として、「山椒は小粒」をモットーに、小さくても元気のある、存在感のある大学を作っていきたいと思っています。お互いに毎日を精一杯生き、充実した学生時代、学長時代にしようではありませんか。人間としてすっかり成長した皆さんが母校を巣立ってゆく日を楽しみにします。

福井大学長 ない き ひろ のぶ 内木 宏延

1959年生まれ。京都大学医学部卒。病理医。1990年、福井医科大学医学部病理学第2講座助手。1998年、福井医科大学医学部病理学第2講座教授。2016年、福井大学医学部長。2021年、福井大学副学長。2025年4月より福井大学長。

歓迎のことば ～松岡キャンパスへようこそ～

医学部長・医学科長 菊田健一郎 きく た けん いち ろう



新入生の皆さま、ご入学おめでとうございます。

ようこそ医療者の世界へ。厳しい試験を突破し、医療者の門をくぐられました皆さんは、これから先の未来を見据えて、心躍る気持ちだろうと推察します。

医療者になろうと決意しここまで来られた道のりは平坦でなかったと思います。迷いと決断、挑戦と挫折、失意と歓喜、悲喜交々を繰り返しながら、皆さんは見事狭き門を突破され今ここに立っています。

この世界を選んで下さった皆様に、まず心から感謝申し上げます。

さて皆さんは福井と聞いてどんなことをイメージしますか？

北陸、北国、東尋坊、雪、かに、恐竜でしょうか？

いずれにせよ、ちょっと田舎？をイメージされているかもしれません。

確かに、広大な敷地面積や周りの田んぼなど大学の周囲環境は「医大村」と呼ばれるカントリー感あふれるものです。しかし教育環境は違います。

福井大学病院は日本で最も高度に電子化された病院の一つといえます。Google WorkplaceとF-CESSという福井大学で開発されたシステムにより教材の受け渡し、レポート提出、Eラーニングなど便利で効率的な学習環境を

提供します。学生がカルテを書き、それをチャット形式で教官が指導します。

教官は粒揃いで、全国から最高の教授を選んでいきます。外科系では指折りの神の手が、内科系では一流の医学者が皆さんを親身になって指導します。指導は一人一人アナログです。教官と学生の距離が近いことも本学の良い特徴です。

入学したら、まず友人を作りましょう。厳しい世界を楽しく過ごすには、励まし合う仲間が必要です。サークル、部活に入りましょう。全く新しいことにチャレンジし新しい人と交わりましょう。世の中には色々な人がいて、色々な考えがあります。患者さんにもいろんな人がいます。自分と違うものをこの4年間、6年間でたくさん経験し、自分と違う人を認め、多様性を尊重できる人間に成長しましょう。

友人と旅に出ましょう。外国に行くのもいいでしょう。忙しいからこそ隙間を見つけ、自分の世界を外に押し広げましょう。英語なんてなんとかなります。お金がなくても、安い移動手段、安い宿を見つけ、トラブルを乗り越え、知らない土地に行きましょう。苦労しながら行く旅行の経験そのものが、あなたの血肉になり財産となります。

英語を勉強しましょう。外国に行くとモチベーションが上がります。映画を字幕で見てヒアリングを磨きましょう。き

ちんと発音ができれば聞き取れます。米国医師免許を取得し外国で医師をされている先輩もおられます。夢を大きく持ち、興味があれば国際課に相談ください。

日本のことをもっと知り、教養を深めましょう。外国に行けば行くほど、「俺は、私は日本人だ」という意識が芽生え、日本のことを知らない自分に気づきます。夏目漱石、武者小路実篤、司馬遼太郎くらいは読みましょう。ベートーベンやモーツァルトも聴きましょう。ちなみに私はカルロス・クライバー指揮のベートーベン第7番が大好きです。

若さとは「初めて」を経験する季節です。歳をとるとは「初めて」がなくなることです。皆さんはこれから、さまざまな「初めて」を経験します。精神が「ハッと」とし、心がときめきます。「少年老いやすく学なりがたし」です。学生生活はあっという間に終わってしまいます。

皆さんが本学で、主体的に学生生活を送られ、素敵な瞬間を数多く経験し、立派な医療者に成長すること、そして将来はここ福井で、わたしたちと共に、高度先進医療と地域医療を、世界レベルで推進してくれる仲間になってくれることを期待しております。

皆さんの学生生活に幸多からんことを。

歓迎の言葉

読書、芸術、恋、旅、あなたが打ち込めるものが
あなたの人生を豊かにします。

医学部附属病院長 ふじ えだ しげ はる
藤枝 重治



新入生の皆さん、入学おめでとうございませう。いよいよ大学生活が始まれます。人生の中で、学生時代の友人は、一生の友です。何の利害関係もなく、何時会っても学生時代に戻れます。とりわけ時間を自由に使える大学での友人は、皆さんの人生の宝です。人生、恋愛、仕事、勉強、すべてにおいて毎日語り合って欲しいと思います。

さて、福井大学医学部では、患者さんに優しく、適切な医療知識と技術を持った医療人を育てることを使命としています。医学部附属病院は、「最新・最適な医療を安心と信頼の下で」を基本理念とし、「新しく優しい医療をあなたのもとへ」のスローガンのもと高度な医療と安心を提供し、患者さんにとって福井大学医学部附属病院が信頼される病院になれるよう、職員一同が努力しています。まずは、皆さん方にこの理念を覚えておいて欲しいと思います。

さて医療人に就く皆さんにまず必要なのは、幅広い豊かな人間的素養です。患者さんの生活環境、人生経験、物事の方法をほとんど知らない段階で、診断した病気について説明し治療を相談しなければなりません。すなわち「こちらがこの様に言ったら、相手はどの様に感じるのか」と推測できないといけません。「無礼な医師だ」「人を想いやれない医療者だ」とか聞かれたことはないですか？またそう感じた経験はありませんか？皆さんは決してそのようなことは言われたくないと思います。そうならないためには、本を読んで欲しい

と思います。世の中には様々な価値観、思考過程が存在します。読書によってそれらを知識として知ることができるのです。恋愛小説、推理小説、医学小説、時には哲学、芸術解説書、どのような本でも構いません。読書によって、人は謙虚に作者の価値観や知識を知り、「教養」、「想像性」、「洞察力」が身に付けられます。それでいて知的好奇心を高め、高度の専門能力を有することができる基礎を作ります。多くの価値観を知っている医療者が、複数の方法で治療を説明でき、ベストの結果に結び付けられるのです。最初の数冊の成功体験が読書の継続を生みます。気力旺盛で高い志を持つ今こそ、まず1冊読みましょう。

次に医療職は、患者さんと必ず向き会わなければいけない対人の職業ということです。社会にはいろいろなサービス業が存在しますが、医療職もある意味、サービス業です。病棟実習（クリニカルクラークシップ）が始まる前に、飲食業などでアルバイトするのもいい経験かもしれません。お客さんと話をする難しさ、喜んでもらえる嬉しさ、笑顔の大切さなどを学んで欲しいと思います。医師も看護師も、にこやかに対面できることは非常に大切です。

そして人のことを思いやれる最も理想的なことは、恋愛です。ぜひ恋をしてください。ぜひとも愛を感じてください。愛は人をこの上なく優しくします。また自分の好きなこと、打ち込めることを見つけてください。もちろん部活は楽しい

ですよ。学外の人とのかかわり合いもとても素敵です。

非日常としては、旅は格別です。大学在学中に、時間と少しのお金があれば、どんどん旅に出てください。特に海外に行って欲しいと思います。世界には我々日本人とは異なった考え方、感じ方があります。でも人間であることは違いがありません。通じ合えば、同じ人間だとわかってきます。そのためには英会話を勉強してください。勉強といっても、最も大事なものは実践です。英語を話す勇気です。「えっ」と言われても、もう一度さっと話しかけることです。もちろん英語で。必ず通じます。ぜひともこの勇気を獲得してほしいと思います。

最後に様々な芸術に触れてください。医療者になると音楽、絵画、書道、茶道、華道、そのほか様々なものに、大きな力があり、患者さんの生きる力になることを知ります。もちろん自分も癒されます。岡倉天心の「茶の本」では、「花はわれらの不断の友である。花がなくてどうして生きて行かれよう」とも書かれています。学生時代に、もし素敵と感じる芸術・美術を発見したならば、それほど素晴らしいことはありません。一生あなたに潤いを与えてくるとともに、患者さんを勇気付けることが可能となります。皆さん、期待しています。一緒に頑張りましょう。

福井大学ではぐくむ、未来をつくる しなやかな力

看護学科長 よつ や じゅん こ
四谷 淳子



新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。

2026年、この春に皆さんが踏み出した一歩は、決して小さなものではありません。それは、自分の未来と、まだ出会っていない誰かの未来をそっと照らす、大切な一歩です。医療や福祉の世界は大きく変わり続けています。AIやデジタル技術が進化し、地域での暮らしを支える仕組みも新しくなり、人と人との関わり方も、より豊かな方向へと変わりつつあります。こうした時代に、看護には「しなやかに希望をつくる力」がいっそう求められています。この力は、特別な日に突然生まれるものではありません。日々の学び、誰かとの出会い、小さな心の揺れ—その積み重ねの中で、静かに、そして確かに育っていきます。これから始まる4年間で、皆さん一人ひとりの心にとってかけがえのない時間となるように。その願いを込めて、五つのメッセージをお届けします。

一つ目は、夢を持ち続けることです。皆さんは看護師・保健師・助産師を目指してここに来ました。その選択には、誰にも言わなかった小さな決意や、胸の奥にしまってきた思いがきっとあったはずです。患者さんに寄り添い、その一日を少し明るくする看護師。地域の未来を見据え、人々の暮らしを支える保健師。新しい命の誕生に立ち会い、家族の記憶に永く残る助産

師。どの道も、人の人生に深く触れる仕事です。どうか“なりたい自分”を手放さずにいてください。夢は、迷ったときの灯台となり、歩む力を与えてくれます。

二つ目は、頑張りすぎないことです。大学での学びは、未知の世界に触れ、自分の可能性を知っていく旅です。立ち止まりたくなる日があっても大丈夫です。「私は何に心を動かされるのだろうか」「どんな人になりたいのだろうか」そんな問いを大切にしてください。心のペースを尊重しながら歩むことが、看護に必要な“優しさ”や“しなやかさ”を育てます。

三つ目は、思ったことを言葉にすることです。勇気を出して言葉にした一言は、自分の内側の景色を変えてくれます。そして、ともに学ぶ誰かの心にも、静かな灯りをともしることがあります。意見を交わす中で世界は広がり、自分の輪郭も少しずつ見えてきます。看護は、多くの視点が交わることで深まる学問です。皆さんの声は、その一部として確かな力を持ちます。

四つ目は、友人を大切にすることです。大学生活で出会う仲間は、人生の中でかけがえのない宝物になります。一緒に喜び、一緒に悩み、一緒に歩く—。その時間は将来、どんな場面でも支えとなり、思い返すたびに温かさを与えてくれます。誰かがそばにいてくれることが、どれほど心を強くする

のか。そして、自分もまた誰かの支えになれること。それを知る4年間になるでしょう。

五つ目は、まず自分が幸せであることです。看護は、人の幸せに寄り添う仕事です。だからこそ、皆さん自身が幸せであることを大切にしてください。小さな喜びに気づける心。自分を丁寧に扱おうとする姿勢。周囲へのささやかな感謝。それらはすべて、誰かへの優しさにつながり、看護の力になります。

これらの五つの視点は、緩和ケアの現場で語られた“人生の最後の後悔”から生まれたものです。そこには、人が本当に大切にしたいと願うものが静かに刻まれています。どうか皆さんの大学生生活が、“自分らしく生きたい”という思いを育てていく時間でありますように。そして、いつか出会う誰かの人生に寄り添う力を養う4年間でありますように。

ここで過ごす時間が、皆さんの心に温かく残る旅となり、福井大学での学びが、未来のあなたを支える光となることを願っています。

《看護学科学生支援活動》

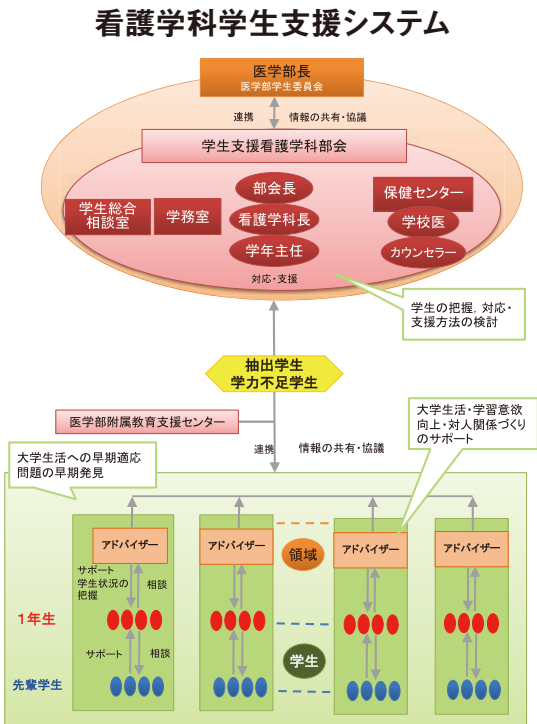
看護学科では、各学年につき2名の学生主任の教員が、入学から卒業するまでの4年間にわたり、学業面、生活面、専門職者としてのキャリア形成等、さまざまなことについてみなさんの相談役となりサポートいたします。

また、新入生のみなさんが1日も早く大学生活に慣れ、有意義な大学生活を送ることができるよう、アドバイザー教員と先輩学生がみなさんと共に小グループを編成し、みなさんをサポートします。小グループでは、大学生活・環境等への適応のお手伝いや、大学での学習意欲が湧くような活動に加え、対人関係づくりを促すような活動を行いますが、他にも行いたいことなどグループの活動内容はグループ全体で決めていきます。みなさんが困ったときは、学年主任、アドバイザー教員、先輩学生、保健センター、学務課などみんなで解決できるような体制ができています。

この活動については、本学看護学科ホームページでも詳しく紹介されています。
<https://nursing.med.u-fukui.ac.jp>

〈看護学科〉

学年	学 年 主 任	
1年	なみざき ゆみこ 波崎由美子（育成期看護学）	あおき みく 青木 未来（コミュニティ看護学）
2年	うずい ひろやす 宇隨 弘泰（臨床看護学）	しま まさよ 嶋 雅代（育成期看護学）
3年	いそみ ちえ 磯見 智恵（臨床看護学）	うめだ なおこ 梅田 尚子（育成期看護学）
4年	はせがわ みか 長谷川美香（コミュニティ看護学）	となみ りか 礪波 利圭（基盤看護学）



「新たな一歩を踏み出す皆さんへ」

看護学科1年 学年主任 なみざき ゆみこ
波崎 由美子

この度は、ご入学おめでとうございます。新しい環境に期待を膨らませる一方で、不安も感じているかもしれませんね。そんな皆さんと出会い、共に歩めることを嬉しく思います。

学生生活は、あっという間に過ぎていきますが、自分の将来を形作る大切な時間でもあります。勉強や実習を通して、看護の知識や技術を学ぶだけでなく、仲間と支え合いながら成長していくことも、この期間の大きな意義です。もちろん、楽しいことばかりではありません。学業の難しさや、思い通りにいかないこともあるでしょう。そんな時こそ、一人で抱え込まず、周囲に頼ってください。私をはじめ、教員やスタッフ一同、皆さんが充実した学生生活を送れるよう、全力でサポートします。学びのこと、将来のこと、生活のこと、どんな小さな悩みでも気軽に相談してください。皆さん一人ひとりの大学生活を身近で見守りながら、安心して前に進めるよう、いつでも併走していきます。

これから歩む道は、決して一人ではありません。仲間とともに学び、支え合いながら、一歩ずつ進んでいきましょう。皆さんの成長を心から楽しみにしています。これからの学生生活が、実り多いものになりますように。共に頑張ってください！

そのほか、医学部では、「学生総合相談室」（松岡キャンパス管理棟1階）を設けています。何か困ったことがあったら、一人で悩まず気軽に訪ねてください。（詳しくは、P15をご覧ください）

医学図書館へようこそ♪



医学図書館は、講義棟正面入口向かいの建物です。
皆さんの医学図書館は建物だけではなくインターネット上に広がる「図書館という学習環境」です。
使い方一つで世界中の情報を手にすることができます。時間は卒業までの数年間。
是非使いこんでください。

主な特徴

- 24時間開館
- Wi-Fi 利用可（総合情報基盤センターでの申請要）
- 入館ゲートは学生証でタッチ即入館
- グループ学習に使える情報工房・グループラボ
- 患者さんや一般の方も利用可能
- 自動貸出返却装置で24時間貸出返却可能

医学図書館は、利用者の皆さんの学習・教育・研究をバックアップするため、様々なサービスを提供しています。
ご質問等ありましたら、下記へメール、もしくは平日の17時までに電話または直接カウンターへいらしてください。

mllib-sv@ml.u-fukui.ac.jp 0776-61-8258 内線2177

使えるぞ！図書館ホームページ

福井大学図書館 検索

図書館のホームページは、本のありかを調べるだけでなく、インターネット上で利用できる様々なサービスの窓口です。

便利な『マイライブラリ』は本の予約や他の図書館からの本の取り寄せ、購入希望リクエストなどをどこからでも申し込むことができます。



電子ブック

インターネット上で読める教科書・参考書。
誰かが借りてるから使えない！ってお悩みがないんです。ダウンロードもできるのでゆっくり勉強できます。動画もあるので細胞の動きなど理解が深まります。
英語多読にはMaruzen ebook libraryのMacmillanシリーズがあります。



電子ジャーナル

インターネット上で読める雑誌。
世界の研究にいち早く触れることができます。

まずはNew England Journal of Medicineのようなレビュー誌を読んで英語で医学の世界へ踏み出しましょう。



データベース

情報を探するためのツール。

日本語の学術情報

医中誌WebやJDreamIII

外国語の学術情報

PubMedやScopus

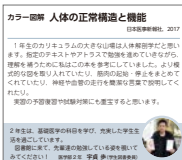
今話題のキーワードで検索してみましょう。



図書委員Webミーティング

図書館の運営に参加できる学生図書委員。

お薦め本紹介やブックハンティング（選書）などあなたの参加をお待ちしています。



GakuNin（学認）

デジタルコンテンツ（インターネット上で使える資料）を自宅や外出先から使う魔法の呪文（ちゃんとしたサービスです）。自宅や外出先から各サービスにアクセスする際には、皆さんの統一認証IDでログインしましょう。



医学図書館 MAP

開館時間	授業期間
月～金	9:00～20:00※
土・日・休日	10:00～16:00※

※特別利用申請により、24時間利用可能です。

貸出冊数	貸出期間
10 冊	1 週間

ラウンジ

勉強に疲れたらラウンジでぼっと一息。おしゃべりもできる。新着図書やミニ展示、研究室リレーなど気になるコーナーを見つけよう。季節のイベントも開催しているので参加してね。

カウンター

本の探し方や図書館の利用方法など気軽にお尋ねください。

正面玄関

平成22年に改装した玄関はブルーの壁面に白い階段が交差するヨーロッパな装い。ようこそ医学図書館へ。

1F

正面玄関 → ラウンジ 展示コーナー → コピー室 → カウンター → 事務室 → 集密書架 → 新着雑誌コーナー → 雑誌閲覧室 → 福井県医学資料室 → 雑誌閲覧室 → メディアルーム → ピロティ

集密書架

前年までの学術雑誌が並ぶ。ハンドルを回すと書架が移動して中の資料を取り出せる。日本語の雑誌は1987年～外国語の雑誌は1990年～

コピー室

コピー料金
モノクロ 10円/枚
カラー 50円/枚

新着雑誌コーナー

今年分の雑誌が並ぶ。必要な資料があればカウンター前のコインコピー機を利用しよう。雑誌は借りることもできる。

メディアルーム

モニターを配置しています。

からお探しのあなた
最新号を手にしてください

シグナルセンシング
でわかる心臓の動き

皮膚科
最新号

看護
最新号

館内どこでも無線LAN使用可能です。
(手続きは総合情報基盤センターへ)

館内に設置してあるPCでインターネットに接続する場合もご自身の学内無線LAN接続にてご利用ください。

新着情報をゲットしてね！

@u_fukui_medlib

皆さんの学習環境を守るためのお約束

館内では、本を汚したり、臭いが他の利用者の迷惑になったりすることを防ぐため、蓋付きの容器に入っている飲料のみ持ち込み可能としており、『飲んだらしまう』を合言葉に水分補給を行っています。

飲食する場合は、講義棟1階コミュニケーションスペースをご利用下さい。

心とからだの本コーナー

医学図書館を利用する患者さんや一般の方向けに心やからだに関する本がある。もちろん皆さんも利用OK。

診療ガイドライン・癌取り扱い規約コーナー

視聴覚資料コーナー

医学に関するDVDやビデオがある。

情報工房・グループラボ

2F

情報工房・グループラボ → 図書閲覧室2 → 図書閲覧室3 → 図書閲覧室1 → 集密書架 → 新書・文庫コーナー → 国試対策コーナー → USMLEコーナー

図書閲覧室1

アメリカ医学図書館分類に従って、医学の専門図書が並ぶ。閲覧席は大きな医学書を数冊並べても平気な広いスペースを持ち、いつでも自由に閲覧・勉強できる。

USMLEコーナー

アメリカの医師国家試験用問題集がある。将来海外で働くことも目標の一つに入れては？学生同士の勉強グループもあるのに参加してみよう。

国試対策コーナー

医師、看護師、保健師、助産師の国試対策問題集の過去5年分がある。6年後・4年後を目指して今から覗いてみよう。

図書閲覧室2

心理学、社会学、数学、小説など一般教養図書が並ぶ。

新書・文庫コーナー

岩波文庫・岩波新書・講談社ブルーバックス

松岡キャンパス 保健センターのご案内 >>>

体調不良、お困りごとなどは、我慢せず、遠慮せず、保健センターにご相談ください。

(管理棟1階学務課前)

対応可能時間(症状確認、紹介状発行) 平日8:30～17:00

TEL 0776-61-8575 Mail: m-hoken@ml.u-fukui.ac.jp



《体調不良のとき》

附属病院を受診したい

- ・診察受付は月～金の8:30～11:00です。(平日午後、土日、祝日は診察時間外です)
- ・予約制となっており、また診療科によって診察する医師が決まっていますので、基本的に当日は受診できません。
- ・注意…初めて附属病院を受診するとき、または前回の診察から6か月以上受診がない場合は、紹介状が必要です。紹介状を持参しない場合は、初診料のほかに選定療養費(¥7,700)がかかります。

本日 医療機関を受診したい

- ・体調不良時は、無理に登校せず、自宅から保健センターに電話してください。永平寺在宅訪問診療所または近隣の医療機関を紹介します。
 - ・産婦人科、皮膚科、耳鼻科、整形外科、眼科等の専門外来の予約は、保健センターで調整しますのでご相談ください。
 - ・自家用車がなく近隣の医療機関を受診できない場合は、附属病院を紹介しますが、当日は受診できないこともあります。ご了承ください。
- ※切り傷、すり傷などの消毒や湿布など、受診が不要な場合は、保健センターで処置します。

《急なケガで救急部を受診したいとき》

- ・時間外(平日午後、休日、夜間)にも診察をしてくれますが、体育中や部活動中にケガをしたときなど、あくまで急病の時のみ紹介します。救急部の医師が総合的に診てくれますが、基本的に内服処方1日分です。専門的な治療が必要な時は、当日もしくは翌日に他科やクリニックを紹介してくれます。
- ・注意…診察代金のほかに時間外料金、22時～翌6時までは深夜料金が加算されます。
- ・部活や体育授業中の事故の場合は、加入している保険の手続きが必要な場合があります。保健センターにお知らせください。

《実験、実習中のケガのとき》

- ・実験中のけが、実習中に針刺しをした場合は、担当教員に連絡したのち、すみやかに保健センターにご報告ください。追加で検査や病院を受診することがあります。

《学校医に相談したい、カウンセリングを受けたいとき》

- ・眠れない、集中力がない、やる気がない、食欲が落ちた、生理不順、体がだるい、おなかが痛い…病院受診までは必要ないけど医師に相談したい、カウンセラーに話を聞いてもらいたい…等は保健センターにご相談下さい。学校医またはカウンセラーと調整し、相談へつなぎます。
- ・学校医は、内科一般、整形外科、歯科、産婦人科、精神科の医師です。カウンセラーは2名（男性、女性）です。
- ・注意…相談なので費用はかかりませんが、レントゲン撮影、血液検査、内服薬の処方はありません。相談の結果、検査や投薬治療が必要な場合は医療機関を紹介されることがあります。

健康相談

内科医師：中嶋 康貴	整形外科医師：渡邊 修司	婦人科医師：玉村 千代
精神科医師：上野 幹二	看護師：岩本 和栄	相談日／月～金 9時～17時

カウンセリング

臨床心理士：栗田 智未	相談日／月～金 9時～17時30分
-------------	-------------------

※医師に相談を希望される方は、予め保健センター内事務室（電話0776-61-8575）まで申し出てください

※カウンセリングは、なるべく電話予約（電話0776-61-8567）をしてください

※相談内容については、秘密を厳守いたします

《大学に提出する診断書が欲しいとき》

- ・試験を欠席する場合や、長期に授業を欠席する場合は、診断書を提出する必要があります。かかりつけ医がない場合は、保健センターから永平寺診療所や近隣の医療機関を紹介し、診断書を依頼します。ただし、証明できるのは受診した日からです。先週おなかが痛かった、発熱していたなど、日を溯って記入することはできません。
- ・注意…診察代のほかに、文書証明料発行のための料金がかかります。

《健康診断証明書が欲しいとき》

- ・病院見学や就職試験のため、医療機関から健康診断証明書の提出を求められる場合があります。
- ・定期健康診断書（身長・体重、血圧、胸部レントゲン）は学務課前の自動発行機で出力・受け取りができます。（受診していない場合は発行できません）
- ・特別健康診断証明書（麻疹風疹、HBワクチン抗体価、ワクチン接種歴）が必要な場合は保健センターに直接お越しください。発行までに3～5日かかる場合がありますので、余裕をもってお申込みください。



令和8年度 学生定期健康診断等日程表 >>>

from 保健センター

日 程	検査項目等	対 象 者
4月9日(木) 4月13日(月) 午後～ (※詳しい時間は決まり次第 お知らせします)	全学生定期健康診断 ●身長・体重測定 ●血圧測定 ●胸部X線撮影 ●尿検査 ●視力測定	全学生 医：6年生、看：4年生
4月下旬～12月 (※詳しい時間は決まり次第 お知らせします)	B型肝炎血液検査及び HBワクチン接種 ① ワクチン接種前血液検査 ② 1回目HBワクチン接種 ③ 2回目HBワクチン接種 ④ 3回目HBワクチン接種 ⑤ ワクチン修了後、血液検査	医：3年生 看：2年生
4月～6月	B・C型肝炎、血液検査(一般)	医：1年、学士編入生 看：1年生
5月	メンタルヘルス検査	医・看：1年生
11月 (※詳しい時間は決まり次第 お知らせします)	インフルエンザワクチン接種	医：4、5、6年生 看：2、3年助産学専攻生 院：希望者

※「医」は医学科、「看」は看護学科、「院」は大学院を示す。

注 意

各健診の受検については、学生メールや掲示板等でお知らせします。
 掲示する日程表の全課程は日時を守る必要があり、途中で受け忘れると無効になりますので注意してください。
 日程変更はできませんので、日時を厳守のうえ受けてください。

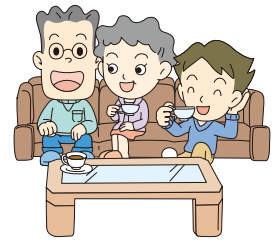
こころの健康について、考えてみませんか >>>

from 保健センター

保健管理センター(松岡地区保健センター) 臨床心理士・公認心理師・大学カウンセラー **栗田 智未**
kurita@u-fukui.ac.jp (TEL:0776-61-8567)

〔大学生の課題〕

著名な発達心理学者E. H. Ericsonによれば、青年期の心理発達課題は、「自分というアイデンティティの基盤をしっかりと固めようとする」と。大人へと変化を遂げていく準備をするとても重要な時期です。自分とはいったい何者かという問いを通して自分自身を形成していくのですが、困難な課題に立ち向かうこの時期は一時的に精神的に不安定になることも多く、多岐にわたる悩みを抱えることになります。



〔こころの乱れは生活の乱れ〕

大学生活には様々な新しい体験があります。例えば、一人暮らし。大学生活は、起きる・食べる・身の回りのことを自分でしなければなりません。そして、授業、部活、バイト、友達関係…、めまぐるしい日常の連続です。睡眠不足や偏った食習慣、多忙な生活が続けば、『やる気が出ない、イライラする、周囲の目が気になる』などの不適応状態に陥ります。心の健康は、日常的な普通の生活習慣を維持することから始まります。



〔医学部生はタフ!?!〕

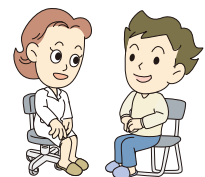
ある調査研究で「医療者は精神的に健康だと自認する人が多い」という報告があります。「自分はタフだ」という思い込みや「弱音を吐いてはいけない」という価値観は向上心に繋がります。しかし、自分をタフだと思っている人ほど周囲に弱みを見せるのを嫌い、自分だけで対処しようと頑張っかえって大きく破綻してしまう場合があります。自分一人で解決できるものもあれば、誰か他の人と相談しないと難しいこともあります。必要な時に他の人を信頼し相談する強さ、頼れるような柔軟さも獲得していきましょう。



〔保健センター カウンセリング室へ〕

学生生活において直面する様々な悩みや問題について、専門的な立場から秘密厳守で相談にのります。人間関係や自分の性格といった悩み、学業や進路に関する悩み、不眠や食欲不振などの身体的な悩みなど、困ったことがあったら相談に来てください。皆さんが想像している以上に、多くの学生が気軽にカウンセリング室へ来ています。

カウンセリングでは、相談者の困っていることや希望を聞き、問題を整理することによって、相談者が自分なりの解決法を得やすいように支援します。その他にも、相談者の希望に応じて、専門的な情報を伝える、関係者の間に入って環境を調整する、適切な人物や機関を紹介するなどします。友達や家族が困っているという場合も利用できます。まずは気軽にドアをノックしてくださいね。



学生総合相談室のご案内 >>>

学生総合相談室は、学生の皆さんの毎日の生活が充実したものになるように、相談（カウンセリング）などの支援を提供しています。

また、「障がいのある学生及び教職員のための相談室」も併設しております。身体的な病気になった時、日常生活や大学生活に支障を感じるような時も、お気軽にご相談ください。

具体的な相談内容やカウンセラーの紹介はホームページをご覧ください。



相談のヒントや相談室の最新情報などを配信しています。ぜひ一度ご覧ください。

←相談室 HP

<http://soudan.ad.u-fukui.ac.jp/>



相談室はここです！



大学発行のGoogleアカウン



オンライン予約ページ

管理棟の正面玄関を入ってすぐ左手、学務課と保健管理センターのあいだにあります。

開室時間／月～金 9:00～17:30

電話／0776-61-8802

相談の内容については、
秘密を守ります。

キャンパス・ハラスメント防止のために >>>

— しない・させない・見逃さない

ハラスメントのないキャンパスに —

ハラスメントを受けた と感じたら…

悩みをかかえこまずに相談員に声を届けてください。
相談したことで、あなたが不利益を被ることは決してありません。

ハラスメントを目撃したら…

当事者間の個人的な問題として見過ごさず、助けてあげましょう！目撃したあなたが相談に来ることもできます。

ハラスメントと認定されたら…

福井大学はハラスメントを許しません
ハラスメントの内容によっては、加害者は懲戒の対象となります。

社会に存在する様々なハラスメントのうち 大学において発生する可能性のあるハラスメント

○アルコール・ハラスメント

飲酒に絡む嫌がらせや迷惑行為全般を指します。

○セクシュアル・ハラスメント

身体的な接触、性的暴力あるいは性的ジョークなどで、相手に不快感を与える性的な言動を指します。同性間でも発生することがあります。

○パワー・ハラスメント

教職員が職務上の権限を用いて、不適切で不当な言動を行い、他の教職員に対して行う職場における嫌がらせ行為などを指します。学生同士の場合、先輩・後輩の間で発生することがあります。

○アカデミック・ハラスメント

指導教員等がその権力を用いて、不適切で不当な言動を行い、学生や教員に対して行う教育・研究上のいやがらせ行為などを指します。

いつでも相談してください

福井大学

保健センター・学生総合相談室

栗田 智末 前川 伸晃

〒910-1193

福井県吉田郡永平寺町松岡下合月 23-3

電 話／0776-61-8567（栗田）

0776-61-8802（前川）

E-mail／mg-soudan@ad.u-fukui.ac.jp

電話・Eメール・手紙・直接訪問するなど、あなたの一番いいかたちで相談してください。あなたの相談があなたの許可無く記録・報告されることは決してありません。**秘密は厳守します。**

福井大学医学部

～愛と医術で人と社会を健やかに～

【作成】福井大学学務部松岡キャンパス学務課

特集 1

基礎実習棟を改修しました

令和7年4月、基礎実習棟の改修工事が完了しました。

基礎実習棟は建築から40年以上が経過し、建物や設備配管等の老朽化が深刻な課題となっていました。今回、施設の全面改修を実施し、現在の高度な医療教育・研究環境に対応した設備を導入しました。主な改修内容は以下のとおりです。

- ・講義室や実習室を、アクティブ・ラーニングを基本としたフレキシブルな学習・研究スペースに全面改修
- ・遠隔授業システムに対応した授業配信設備および高品質な動画撮影環境の整備
- ・解剖学実習室や医科学実習室への先端画像教育システムの導入
- ・ICT環境の大幅な充実

今回の改修により、最新の教育研究環境が整いました。これにより、先進的な教育研究活動や次世代を担う医療人材の育成に、より一層の弾みがつくことが期待されます。



特集 2

大学院医学系研究科看護学専攻に博士後期課程を開設しました

本学では、令和7（2025）年4月、大学院医学系研究科看護学専攻において博士後期課程を開設しました（定員3名）。

現在、我が国では高齢化や医療・福祉の複雑化、新興感染症や自然災害等、多様な健康課題が山積しており、これに対応できる「高度かつ創造的な看護実践者・研究者」の育成が求められています。

そこで博士後期課程では、看護学だけでなくデータサイエンス、ICT、ロボティクス、AIなど他分野の知見を取り入れ、「ケアイノベーション」をめざす研究・教育に力を入れています。

また、博士後期課程の特長として、主指導教員に加えて副指導教員2名以上を含む「Program of Study Committee」を学生ごとに設け、研究分野によっては異分野の教員も参画し、学生の履修指導や研究論文研究における助言指導（カリキュ

ラムのオーダーメイド化)を行っています。

今後、本専攻では、「次世代ヘルスケア創生看護学」分野の研究、教育者のトップリーダーを養成し、看護学の発展と国内外の地域社会に貢献することを目指します。

設置の趣旨・必要性 福井大学大学院医学系研究科看護学専攻(博士後期課程)(R7開設)

高齢者が医療や介護の必要状態になっても、「誰もが住み慣れた地域で自分らしく最後まで暮らすことができる社会」の実現に向けた取り組みを強化していくことが喫緊の課題となっており、既存の看護学の範疇では対応に難渋する新興感染症や自然災害による健康課題に対しては、これまでの看護の専門領域のみによる保健医療から脱却し、異分野融合によるイノベーション創出による次世代医療の実現が急務。

⇒ **異分野を融合した新しいケア開発やシステムの構築を看護職が担っていく必要がある**

大学院医学系研究科看護学専攻(博士後期課程)設置(入学定員:3名、専任教員:16名)

養成する人材像

「次世代ヘルスケア創生看護学」を探索

異分野を融合し、データやICT・ロボット・AI等を活用しながら、様々な課題の解決策を国内外に適用する**“広域ヘルスケア”**及び乳幼児から老年期にいたる生涯を通じた個人の発達を促進させる**“生涯発達ヘルスケア”**を統合・実践できる**研究・教育者、トップリーダー**

- 高齢者が健康問題をもちながら地域で生活していくための包括かつ継続的なヘルスケアシステムを創造
- 既存の看護学では対応に難渋する新興感染症や自然災害による健康課題に対応できる新たなケアシステムを構築

教育課程の特色

- 異分野を融合し**、データやICT・ロボット・AI等を活用しながら、看護学の8つの教育研究分野の1つを核としつつも、**更に多くの他教育研究分野を重ね**、“**生涯発達ヘルスケア**”と、様々な課題の解決策を国内外に適用する**“広域ヘルスケア”**を統合
- 「Program of Study Committee」※を構築し、データやICT・ロボット・AI等を専門分野とする**異分野の教員が参画し**、学生の履修指導ならびに博士論文研究において、**異分野に関する助言を実施**

※Program of Study Committeeとは、学生ごとに最適な履修・研究計画をオーダーメイド的に決め、専任教員で指導する本学独自の教育支援制度。

全学的な学内資源の再配分とガバナンス改革

○学長のリーダーシップによる戦略的な法人運営を促進する「統合戦略室」において、統一的な観点から、本医学系研究科看護学専攻(博士後期課程)の構想及び統合型を行い、異分野教員の参画を実現

○看護学専攻(博士後期課程)の専任教員科目を他研究科の教員が担当

○教授会は、全ての学生の主研究指導教員及び副研究指導教員を審議し、異分野の教員が参画する「Program of Study Committee」を構築

○専任の博士課程の発着し(専任教員の専任プログラムの開発)

○博士課程を博士前期課程に名称変更するとともに、博士後期課程における異分野融合を核とした新たな教育プログラムを構築。既存の教育プログラムの充実を行い専門分野への一貫性を高めることにより、専門教育や研究指導の質的転換を図る。



博士後期課程の講義風景

特集3

日本看護学教育評価機構(JABNE)による看護学教育評価において、評価基準に適合と認定されました

看護学科では、2025年度に看護学教育評価(分野別評価)を受審し、評価基準に適合していることが認定されました。認定期間は2026年4月1日～2033年3月31日です。

2023年度の医学科による医学教育分野別評価の受審及び適合認定(認定期間2024年10月1日～2031年9月30日)に続き、医学部としては医学・看護学の両学科において、適合との評価を得ることができました。

大学教育の質保証の一環として分野別評価の重要性が高まる中、特に看護学分野では、大学の急増や教育体制の多様化を背景に、実質的な質評価の必要性が生じていました。これを受け、日本看護系大学協議会(JANPU)が2018年に日本看護学教育評価機構(JABNE)を設立。同機構は2020年度から看護学教育分野別評価を開始し、看護学教育プログラムの評価を実施することで、看護学教育の質向上と国民への貢献を目指しています。2023年度までに、累計で25の看護学教育課程が、評価基準に適合と認定されています。

本学看護学科においては、2025年度の受審を見据え、前年度に約1年をかけて、全教員及び関係する事務局職員によるワンチームでの自己点検の実施、並びに自己点検・評価報告書の作成を進めてきました。2025年10月17日には、日本看護学教育評価機構(JABNE)からの評価員3名による実地調査を松岡キャンパスにて受審。附属病院での臨地実習や4年生・1年生の合同授業の見学、学生代表や若手教員代表との面談、及び大学関係者との面談等、非常に充実した1日となりました。

今回の受審を、教職員・学生ともに自らの実情を見つめ直し、継続的な質改善に向けて主体的に取り組むきっかけとし、また得られた気づきや学びを生かして、今後の教育を更に充実化するために取り組んで参ります。

特集 4

医師国家試験合格状況一覧 >>>> from 学務課

学生生活を振り返って

福井大学医学部附属病院 研修医 ほそ え なお い 細江 尚唯 (令和7年度医学科卒業生)



令和7年度卒業生の細江尚唯と申します。現在は、福井大学医学部附属病院で初期研修医1年目として勤務しております。上級医の先生方に丁寧にご指導いただきながら、一つひとつできることが増えていく喜びと、まだできないことの多さに、日々向き合っております。1年目の身で恐縮ではありますが、学生生活を振り返り、皆さんにお伝えしたいことを少し書かせていただきます。

医師国家試験の勉強について

初期研修を開始して感じたのは、医師国家試験の勉強はゴールではなく、医師として学び続けるための最初の基盤だということです。医学生の皆さんは、ペーパーテストを攻略する能力に長けている方が多いと思います。しかし今回ばかりは、合格するためだけでなく、その先の臨床を見据え、腰を据えて学んでほしいと思います。私自身、例に漏れず短期決戦で国家試験を乗り切った自覚がありますが、研修医として実際の現場に出てみると、深い探究や基礎の理解に裏打ちされていない知識は、なかなか武器にな

りません。「学生のうちにもっと深く学んでおけばよかった」と痛感することばかりです。ぜひ皆さんには、合格で終わらない、本質的な学びを大切にしてほしいと思います。

仲間づくりについて

もう一つ、学生生活でぜひ大切にしていきたいのが「仲間づくり」です。私は学士編入生として他大学卒業後に福井大学へ入学しましたが、入学当初はコロナ禍が幕を開けた頃で、思うように交友が広がらない時期が続きました。それだけに、対面の活動が戻ってきた時の喜びはひとしおでした。医学部の大きな特徴の一つは、卒業後に全員が同じ職業に就き、そして多くの同期と同じ職場で働く可能性がある、ということです。大学時代の仲間といつか同じチームで働くかもしれない——そう考えると、仲間に信頼される実力を備えたいという思いが自然と芽生えてきます。県内外の同期とは今も交流が続いていますが、互いの成長が刺激となり、支えになっています。今はもうコロナ禍ではありませんから、皆さん

は学生生活の中で、ぜひ仲間づくり、思い出づくりを存分に楽しんでください。

福井大学医学部附属病院の研修環境について

最後に、研修医として感じている福井大学医学部附属病院の環境について触れたいと思います。近年、病院長や研修センターの先生方を中心に、研修体制の見直しや環境整備が進んでいます。大学は歴史のある場所ですが、常に新しい人材が流れ込み、絶えずアップデートが進んでいく場所でもあります。今まさに新しい風が吹き始めており、研修医ながらに新しい取り組みの中で責任ある役割を任される機会も増えています。若手が挑戦しやすい雰囲気が整いつつあり、日々刺激を受けながら研鑽を重ねております。

学生生活は長いようで、振り返ると本当にあっという間です。学びも仲間との時間も大切に、どうか充実した6年間を過ごしてください。皆さんが成長された姿で臨床の現場に立つ日を、心より楽しみにしております。

区 分	卒業 年度	受 験 者 数 (人)		合 格 者 数 (人)		合 格 率 (%)	国立大等 (位)	全大学等 (位)
		新 卒	既 卒	新 卒	既 卒			
第116回 医師国家試験	R3	107	7	104	4	(97.2) 94.7	11/43	25/81
第117回 医師国家試験	R4	101	5	97	4	(96.0) 95.3	8/43	23/82
第118回 医師国家試験	R5	120	5	115	2	(95.8) 93.6	19/43	45/82
第119回 医師国家試験	R6	118	8	118	6	(100.0) 98.4	1/43	4/82
第120回 医師国家試験	R7	108	2	106	0	(96.4) 98.1	6/43	12/82

(注)()内は、新卒者の合格率である。

保健師・助産師・看護師国家試験受験状況一覧 >>>

from 学務課

国家試験を受験される皆様へ

福井大学医学部附属病院 看護部 木村 純奈 (令和6年度看護学科卒業生)



はじめまして。看護学科卒業生の木村純奈と申します。私は今、福井大学医学部附属病院で看護師として働いています。看護師としてまだまだ未熟ですが、日々先輩方から多くのことを学ばせていただき、よりよい看護ができるように励んでいます。

今回は私の国家試験についてのお話をさせていただきます。看護学科のみなさんのこれからの学生生活や国家試験の勉強の参考になれば幸いです。

私が本格的に国家試験対策を始めたのは、4年生の夏休み頃だったと思います。勉強方法として、まずは、QBやRBを利用して勉強していました。国家試験が近づいてくるにつれ、本番形式の問題をたくさん解くようにし、過去問も10年分ほど解きました。過去問を何年分もやっていると、同じような問題もたくさん出てくるので、どこが重要なのかの分かると思います。今まで受けてきた模試をもう一度解き直すのも、過去の自分の点数と比べて伸びていることを実感でき、自信につながるのです。私は自宅で勉強すると、いつまでもだらだらしてしまったり、ついスマホを触ってしまったら集中力が続かなかったもので、平日は自宅近くの図書館へ行って勉強するように心がけていました。図書館で勉強することで集中力が続くだけでなく、周りで勉強している他の看護学生の姿を見て、自分も頑張ろうと奮い立たせることができていたと思っています。また、週に1回は友達と大学に集まり、一緒に勉強するようにしていました。セミナー室を借り、ホワイトボードを使って分からないところを分かるまで解説し合ったり、覚えにくい内容のゴロを一緒に考えたりしていました。友達と一緒に勉強することで記憶にも残りますし、リフレッシュにもつながると思います。初めはどうやって勉強すればいいのか迷ってしまうかと思いますが、徐々に自分に合った勉強方法を見つけていくとスムーズに勉強が進むと思います。看護師として臨床の場に出ると、自分の知識の無さを痛感するので、学生の頃からコツコツと勉強しておくことをおすすめします。実習での受け持ち患者さんの疾患は記憶に残りやすく、

いつか必ず役に立つと思いますので、大変だとは思いますが、実習にも頑張って取り組んでください。

国家試験が近づくにつれ、自分に自信がなくなってしまうこともあるかと思いますが、たくさんさんの課題や実習、勉強を乗り越えた自分

を信じて国家試験に挑んでいただければと思います。最後になりますが、国家試験まで体調は崩さないよう温かくしてお過ごしください。みなさんの国家試験合格を心より願っています。ご一読いただき、ありがとうございました。

保健師国家試験

区 分	卒業 年度	新 卒		既 卒		総 数			全国 平均 合格率 (%)
		受験者 (人)	合格者 (人)	受験者 (人)	合格者 (人)	受験者 (人)	合格者 (人)	合格率 (%)	
第108回	R3	17	17 (100 %)	0	0	17	17	100.0	89.3
第109回	R4	14	14 (100 %)	0	0	14	14	100.0	93.7
第110回	R5	15	15 (100 %)	0	0	15	15	100.0	95.7
第111回	R6	20	19 (95.0 %)	0	0	20	19	95.0	94.0
第112回	R7	20	20 (100 %)	1	1	21	21	100.0	87.1

(注) () 内は、新卒者の合格率である。

助産師国家試験

区 分	卒業 年度	新 卒		既 卒		総 数			全国 平均 合格率 (%)
		受験者 (人)	合格者 (人)	受験者 (人)	合格者 (人)	受験者 (人)	合格者 (人)	合格率 (%)	
第105回	R3	4	4 (100 %)	0	0	4	4	100.0	99.4
第106回	R4	3	3 (100 %)	0	0	3	3	100.0	95.6
第107回	R5	5	5 (100 %)	0	0	5	5	100.0	98.8
第108回	R6	5	5 (100 %)	0	0	5	5	100.0	98.9
第109回	R7	5	5 (100 %)	0	0	5	5	100.0	99.7

(注) () 内は、新卒者の合格率である。

看護師国家試験

区 分	卒業 年度	新 卒		既 卒		総 数			全国 平均 合格率 (%)
		受験者 (人)	合格者 (人)	受験者 (人)	合格者 (人)	受験者 (人)	合格者 (人)	合格率 (%)	
第111回	R3	62	62 (100 %)	1	1	63	63	100.0	91.3
第112回	R4	62	62 (100 %)	0	0	62	62	100.0	90.8
第113回	R5	63	63 (100 %)	0	0	63	63	100.0	87.8
第114回	R6	61	61 (100 %)	0	0	61	61	100.0	90.1
第115回	R7	64	63 (98.4 %)	0	0	64	63	98.4	88.3

(注) () 内は、新卒者の合格率である。

医学部の皆様、ありがとうございました

ただひろし
夢田 浩（退職時所属・職名：病態制御医学講座 循環器内科学分野 教授）



2012年8月、当時の第一内科および第三内科の循環器グループが統合され、5番目の内科学講座として循環器内科学講座が開講されました。その際、私も福井大学医学部附属病院で勤務する機会をいただきました。当科の診療上の特徴として、他科と比べて緊急対応を要する患者が比較的多いことに加え、非薬物療法が重要な役割を担う疾患が多い点が挙げられます。

2011年時点において、当院では虚血性心疾患に対する冠動脈形成術（PCI）は年間230件（全国立大学病院中17位）と、比較的多く施行されていました。一方で、私の専門である不整脈領域における非薬物療法の年間施行件数は、福井県全体でも、カテーテルアブレーション249件（47都道府県中28位）、植込み型除細動器（ICD）13件（同44位）、心臓再同期療法（CRT）10件（同42位）と、極めて少ない状況でした。そこで寄付講座を設置し、研究資金および人員体制を確保しました。さらに、急性心筋梗塞やショックなどの緊急性の高い症例にも対応可能とするため、24時間体制のカテーテル検査・治療体制を整備し、赴任直後より循環器疾患全般に対する非薬物療法の導入を積極的に推進してまいりました。その後も、経カテーテル大動脈弁留置術（TAVI）、Impella®補助循環用

ポンプカテーテル、リードレスペースメーカ、左心耳閉鎖術などの新たな非薬物療法／手技を順次導入し、当院において施行可能な体制を構築してまいりました。

2025年の当科の年間手術／検査件数は、PCI 322件、下肢動脈形成術 181件、カテーテルアブレーション 432件、ペースメーカ植込み 91件（うちCRT-P 12件、リードレスペースメーカ 1件）、ICD/CRT-D 45件、左心耳閉鎖術4件、TAVI 59件となりました。ICDについては3種類すべての植込みに対応可能であり、重症大動脈弁狭窄症に対しても、TAVIまたは外科的大動脈弁置換術のいずれかを選択することが可能です。これらの取り組みにより、患者一人ひとりの病状に応じた最適な治療を提供できる体制が整いました。現在当院では、本邦で施行可能なほぼすべての循環器非薬物療法を、個々の患者の病態に応じて適切に選択し、高い水準でかつ安全に実施できる体制を確立しています。

研究面では、日常診療の中で得られた臨床データを基盤として臨床研究を進め、その成果を少しずつではありますが、国内外の学会や学術論文として発表してまいりました。こうした取り組みを通じて、当講座からも一定数の英文原著論文を公表するに至っております。教育面では、学生教育

に加え、当科に入局した若手医師に対する研究指導を行い、学位取得へとつなげることができました。さらに、医局員と協力しながら若手医師に対する診療指導にも注力し、循環器内科医の育成に継続的に取り組んでまいりました。育成した医師を近隣医療機関に配置することで、地域医療の充実にも微力ながら貢献できたものと考えております。

このような取り組みを重ねる中で、14年という歳月は瞬く間に過ぎました。運営面ではさまざまな苦勞もございましたが、今振り返りますと、いずれも忘れ難い、非常に充実した時間であったと感じております。これまで前向きに歩んできてことができましたのも、ひとえに医学部の皆様が当講座に寄せてくださった深いご理解と、温かいご支援の賜物であり、心より感謝申し上げます。

私は福井県勝山市の出身であり、福井には特別な思いがあります。ここ福井大学医学部で勤務できたことは、私にとって大きな誇りであり、かけがえのない経験となりました。福井大学医学部が、今後も臨床・研究・教育のすべての分野において、ますます発展されることを心より祈念しております。医学部の皆様、長年にわたり本当にありがとうございました。

皆さんに、感謝！です

まつ みね あき ひこ
松峯 昭彦 (退職時所属・職名：器官制御医学講座 整形外科学 教授)



「あっという間に定年退職…」というのが私の正直な気持ちです。

私は、福井医科大学の一期生として1986年に卒業後、15年間を大阪大学関連病院、次の15年間を三重大学で過ごした後、2016年～母校、福井大学に戻って参りました。

30年ぶりに母校に戻ってきたら、田んぼしかなかった大学の周辺には沢山の学生アパートが建ち並び、それなりに街ができあがっていたのには大変驚きました。

年齢的に少し遅い赴任で、最初から9年4ヶ月しかないことはわかっていたので、赴任直後から張り切って猛ダッシュしました。しかし、タイヤはすり減りが目立ち、エンジンも思った以上にがたつきはじめていました。当然、タイヤはいきなり空回り。ワイパーも故障しがちで前もよく見えない。それでも四苦八苦しながら、やっと動き出したと思ったら、コロナ禍という逆風で緊急停車。エンジンパワーを上げるべく、外部からの強力なエンジン（医師）を導入し、パワー補強しましたが、私というメインパワーの衰えは否めず。それでも一緒に乗り合わせた（乗ってしまった？）仲間達の力を借りて、時には後ろから押してもらいながらゴールしたかな……というのがホントの姿です。

そんな、トホホの9年あまりでしたがいろいろな貴重な体験ができたことも事実です。

研究に関しては、本当に試行錯誤の9年間となりました。私の赴任前は、脊髄・脊椎疾患が教室の重要なテーマでしたので、引き続きその研究を自由にやってもらいました。新しい研究としては、私の専門である骨・軟部腫瘍（骨肉腫が代表です）の基礎的な研究や、新しい医療機器（膝の手術に使用する医療機器など）の開発を進めました。私自身、大学院で研究したことが基礎研究の楽しさを

知るきっかけになりましたし、基礎研究の経験は臨床にも生かされることを実感してきましたので、文部科学省が強力に進めている大学院教育の充実は十分理解しているつもりです。一方、地域枠（福井健康推進枠）で入学した先生方にどうやって研究機会を与えるのか、忙しい臨床業務の間にどうやったら研究時間を確保できるのか、働き方改革的には大丈夫なのか、研究モチベーションが低い場合どうするのか…など大いに悩みました。地域枠で研究機会が拘束される大学院生には、臨床データ（画像データや検査値）を持ち出せば（もちろん個人情報抜きです!）、コンピュータ解析できるような研究テーマを提示し、ウェットな研究に没頭できそうな大学院生には、基礎の教室とのタイアップを進めましたが、その成果を任期中に確認できないままに時間切れとなりそうです。本当に申し訳なく思っています。

臨床では、福井大学整形外科が福井県の整形外科医療の最後の砦となるべく、教室員全員で奮闘しました。私の任期中に、様々な先進的な医療機器（ナビゲーションシステム、脊椎手術を安全に行うためのO-arm（オーアーム）、人工関節用の手術ロボット：MAKO）などを、（病院長を言いくるめて？）導入して頂き、手術の正確性と安全性が大きく向上したことは本当に良かったと思います。これらの医療機器は、最先端の整形外科医療として治療成績を上げるばかりでなく、新しいエビデンスの構築と論文の形で学外への発信のために大いに力になってくれると思います。また、救急外来を通して入院してくる様々な外傷患者さんには、教室の若い先生方を中心に対応してもらいました。整形外科の救急患者は極めて多く多彩ですが、医局員は皆その対応に頑張ってくれました。時にはトラブルも

ありましたがそれも皆、乗り越えてくれました。ホントに感謝です。（救急部の先生方にはご迷惑をおかけしたこともありましたが、ごめんなさい）

教育面では、福井大学の学生さんの真面目さには少々驚きました。不思議な学生さんがいることは間違いありませんが、私の学生時代より明らかに出席率は良いし、熱心に授業を聞いてくれました。少し覇気が無い…と感じることはありましたが、個人的に話をすると良くしゃべってくれますので、単に恥ずかしがっているのだらうと思っています。

残念なのはコロナ禍でした。丁度コロナ禍が発生したときから6年生担当の学年主任を拝命し、さらに臨床教育研修センターのセンター長も拝命したのですが、すべてがWebになってしまい、個人的な繋がりを持てるような状況ではなくなりました。コロナ禍でもできることがあったのではないかと大いに反省しています。

そんな、ちょっと不完全燃焼な9年あまりでしたが、整形外科教室の医局の皆さん、関連病院の同門の先生方、医局事務職員、他診療科の先生方、看護スタッフの皆さん、リハビリテーション部門の皆さん、病棟のメディカルスタッフ、手術部スタッフ、大学の管理棟の事務の皆さん、医療安全や感染対策で奔走しているスタッフ、掃除のおばちゃん、我慢強く勉強する学生さん…皆の助けでなんとか事なきを得て、倒れそうになりながらもゴールできたように思います。

これから福井大学を取りまく医療環境そして研究環境は益々厳しくなりそうなのが気になりますが、皆様の益々のご活躍をお祈りしています。お役に立ちそうなことがありましたら声をおかけください。また、つまづきそうに歩いている私をどこかで見かけたら、後ろから支えてください。

皆さん、本当にありがとうございました！

地元福井の地で歩んだ約四十年の軌跡

よし だ よし お
吉田 好雄（退職時所属・職名：器官制御医学講座 産科婦人科学 教授）



福井大学の学生の皆様。私は1982年に地元福井医科大学医学科三期生として入学し、途中、関連病院での勤務やイスラエル・ワイツマン研究所への留学経験はありますが、約40年という歳月をこの大学で過ごさせていただきました。

私自身の医学部への道は、文系から理系へと転向した、いわゆる「理転組」としての出発でした。人一倍の苦労を重ねて入学を勝ち取った分、掲示板に自分の受験番号を見つけた時の心の底からの喜びは、今でも昨日のことのように鮮明に覚えています。憧れの医学部に入学できた誇りと期待から、講義では常に前のほうに座ってノートをとっていました。臨床実習では、目の前で患者さんと向き合う先生方を「すごいな」とおもったことを覚えてます。

臨床実習終了後、私は産科婦人科教室に入局しました。入局後は幸いにも、尊敬できる多くの指導医に恵まれ、診療・研究・教育の真髄を学ぶことができました。そして2012年、運よく本教室の三代目教授に就任し、主宰者として舵を取るようになりました。

研究面では、診断が極めて困難とされる「子宮肉腫」の診断法開発に注力し、基礎研究の成果を臨床に還元する「橋渡し研究」を推進してきました。これまで5件の特許を取得し、世界上位3%にランクインする論文を含む約300報の学術論文を発表でき

ました。これらの成果が認められ、令和5年には福井県科学学術大賞を受賞する栄誉にも浴しました。

また、病院運営の近代化という大きな課題にも向き合ってきました。平成22年には全国の大学病院に先駆けて「術前支援センター」を設立しました。当時の大学病院は診療科ごとの独立性が強い「セクショナリズム」が弊害となっていました。多職種間の利害調整を行い「一つの標準化されたルール」を構築することで、手術の安全確保と効率化を実現しました。

臨床においては、福井県内の周産期・生殖医療の体制強化に全力を注ぎました。「総合周産期母子医療センター」の認可取得や、県外流出が課題だった不妊治療を県内で完結させる「高度生殖医療センター」の設立、さらには最新の手術支援ロボットの推進など、地域住民の皆様へ高度な医療を提供できる体制を整えてきました。

何より私が誇りに思うのは、本教室が築き上げてきた強固な地域医療ネットワークです。現在、我が産科婦人科教室は、福井県内にある「すべて」の病院へ医師を派遣しており、地域医療の空白を一切作らない盤石な体制を確立しています。その影響力は県境を越え、石川県立中央病院や岐阜県の中部国際医療センターといった広域の基幹病院にも及んでいます。

特筆すべきは、県立病院を除くすべての主要な拠点病院において、産婦

人科部長をはじめとする要職を本教室の出身者が占めているという点です。これは、各病院において本教室が診療の質と運営に責任を持つ、いわゆる「実病院」として、名実ともに地域医療の舵取りを担っていることを意味します。この圧倒的なネットワークこそが、福井県全体の医療水準を底上げし、若手医師に豊富な症例経験と多彩なキャリアパスを提供することを可能にしています。

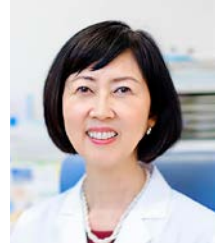
教育面では、私の在任中に46名もの医師が入局し、13名の医学博士を輩出しました。深刻な医師不足の中で、これほど多くの仲間が地域の医療基盤を支えてくれていることは、私にとって最大の喜びです。

日本産科婦人科学会の役職を務める中で痛感したのは、医療の世界は常に動的な変革を求めているということです。学生の皆様には、純粋な向学心を持ち続けながらも、既存の枠組みに囚われない広い視野を持っていたほしいと願っています。

医学の道は険しくもありますが、自らの手で医療の質を変え、患者さんの人生を支えることができるこの仕事は、比類なき価値を持っています。皆さんがこの福井大学で学び、いつか私達と共に、あるいは先を歩む頼もしい同僚として活躍される日を心待ちにしています。

子どものころとともに歩んだ日々 ——感謝を込めて

とも だ あけ み
友田 明美 (退職時所属・職名：子どものころの発達研究センター発達支援研究部門 教授)



発達小児科医としてキャリアをスタートして以来、子どものころの診療と研究に携わってきました。2011年6月に熊本大学から福井大学へ赴任してからの15年間は、臨床・研究・教育の三位一体の実践を追求する日々であり、振り返るほどに深く胸に残る充実した時間でした。

定年を迎える年齢となり、時の流れの速さをあらためて実感すると同時に、学生や教員の皆様と、もっと丁寧に関わり合える時間を持てたらよかったという思いも胸に残っています。

これまでの臨床の基盤には、「子どもの人権を尊重する」という理念がありました。病気や障がいの有無に関係なく、すべての子どもが安心して成長できる環境を支えること。それを実現するため、脳科学・発達心理学・精神医学を統合し、多職種連携を重視した診療モデルの構築に取り組んできました。着任後に開設された「子どものころ診療部」や、「五大学連合小児発達学研究科福井校」と協働し、次世代を担う医療者・研究者の育成にも力を注いできました。

臨床研究では、マルトリートメント（子どもへの避けたい関わり）が脳構造や機能、さらにストレス関連ホルモンやDNAメチル化などに及ぼす影響を明らかにすることを目指し、多くの患者さん・ご家族のご理解と協力を

得ながら研究を進めてきました。こうした知見は、子どものころの健康をめぐる社会的課題に対し、臨床現場から科学的根拠を提示する重要な手がかりとなったと感じています。

何より私の糧となったのは、臨床の場で出会った多くの患者さんご家族、そして共に学び、悩み、成長してきた学生や医療者の皆さんとの出会いです。一つひとつの関わりが、私の臨床観や研究の問いを深める大切な刺激となり、かけがえのない財産となりました。

子どもセンターの教員として、また子どものころ診療部の医師として歩んできましたが、自分が良い医療者であり、教育者であり、研究者であったかどうか——その答えは今も明確ではありません。ただ、迷いながらも最善を尽くしてきたという思いだけは残っています。おそらく、その「迷い」こそが臨床医学の本質に寄り添う姿勢であり、私らしさでもあるのだと思います。

定年を迎えるとはいえ、今春から新たに子どものころの発達研究センターに寄附研究部門「マルトリ予防学」が発足し、引き続き研究活動を進める機会をいただきました。子ども虐待という言葉ではなく「マルトリートメント」という視点から、子どもと家族を支える臨床モデルを深化させ、

地域医療へ還元していくことが今後の使命と考えています。

福井大学で過ごした年月は、私にとってかけがえのない宝物です。支えてくださった多くの先生方、学生・医療者の皆様に、心より感謝申し上げます。これから皆様の歩みを応援しつつ、自分自身も少しずつ前に進んでいきたいと思っています。

どうぞ今後とも温かいご指導、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。



あべ ちから
安部 力

- 所属・職名：生理学 教授
- 就任年月日：2025年4月1日
- 出身高校：池田学園池田高等学校（鹿児島県）
- 出身大学：九州大学
- 就任前の職名：岐阜大学大学院医学系研究科 准教授
- 趣味・特技：登山、テニス、ランニング

2025年4月1日付で、生理学分野の教授を拝命いたしました。私は宮崎県出身で、2005年に九州大学歯学部を卒業しました。子どものころからの夢であった“宇宙に関わる仕事”を捨てきれず、大学院進学以降、約20年にわたり

宇宙医学の研究に取り組んでまいりました。とくに前庭系や循環器系を中心に研究を進めており、「宇宙は老化を加速する」という視点から、加齢に伴う平衡機能低下や起立性低血圧などの課題にも取り組んでいます。教育においては、

ひとりでも多くの学生が“大志”とともに、さまざまなことへ挑戦できるような学びの場を提供していきたいと考えております。興味のある学生さん、ぜひお気軽にお声掛けください。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。



おお が い と た とく
大垣内多徳

- 所属・職名：物理学・情報科学 教授
- 就任年月日：2025年5月1日
- 出身高校：兵庫県立鳴尾高校
- 出身大学：大阪大学
- 就任前の職名：福井大学 総合情報基盤センター 准教授
- 趣味・特技：野球観戦、競技プログラミング

福井にきて30年目となりました。

物理学を研究するために身につけた情報システムに興味を抱いて研究対象とし、医療情報部、総合情報基盤センターで、大学病院や大学のネットワークや情報基盤の安定運用を実現するため

の手法について取り組んできました。

この世を記述する物理学のおもしろさや重要さを学生の皆様に伝えるとともに、本学の情報基盤が今後も安定して運用されるために必要な事項について取り組んでいきたいと考えています。



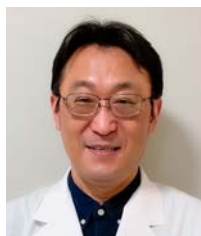
わ せ だ ゆう こ
早稲田優子

- 所属・職名：呼吸器内科学 教授
- 就任年月日：2025年4月1日
- 出身高校：金沢大学人間社会学域学校教育学類附属高等学校
- 出身大学：金沢大学
- 就任前の職名：呼吸器内科学 講師
- 趣味・特技：硬式テニス、スポーツ観戦、美味しいものを食べる

令和7年4月1日付で呼吸器内科学の教授を拝命いたしました。専門は呼吸器内科学、特にびまん性肺疾患、アレルギー、膠原病です。専門分野はもちろんのこと、呼吸器内科は他科との連携も最も多い分野の一つです。引き続きみなさまとのコミュニケーションを密

に取ってまいりたいと思いますので、みなさま気軽にお声がけください。プライベートでは、去年より昔やっていた硬式テニスを再開、ランニングも新たにはじめましたが、毎年恒例の家族スキー旅行にて右手首を骨折してしまい、現在リハビリ中で春頃から少しずつ再開予定

です。座右の銘は「人間万事塞翁が馬」、長所はどんな人でもすぐに仲良くなるところ、欠点は人を怒ることができないところです。今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。



うめだ かつつぐ
梅田 雄嗣

- 所属・職名：小児科学 教授
- 就任年月日：2025年12月1日
- 出身高校：灘高等学校
- 出身大学：京都大学
- 就任前の職名：京都大学医学部医学科 准教授
- 趣味・特技：旅行、ドライブ

2025年12月1日付で小児科学教授を拝命いたしました。出身は兵庫県神戸市で、大学生以降は人生の約半分を京都で過ごしました。大学4年生の時に自主研修で小児科病棟での臨床実習を選択し、それがきっかけで小児科を選択

しました。小児科の中でも臨床では血液・がん、造血細胞移植などを専門としています。また基礎研究ではiPS細胞などの再生医療や小児がん研究を積極的に行ってきました。本学の研究、診療、教育に貢献できるよう精進してまいります。

ですので、どうかよろしくお願いします。また、子どもが好きな学生さん、小児科に興味がある学生さんは是非声をかけてください。



ふし み やす たか
伏見 育崇

- 所属・職名：高エネルギー医学研究センター・分子イメージング展開領域 教授
- 就任年月日：2025年11月1日
- 就任前の職名：京都大学大学院医学研究科 放射線医学講座（画像診断学・核医学） 准教授
- 趣味・特技：特にありません

令和7年11月1日に高エネルギー医学研究センター・分子イメージング展開領域の教授に着任しました伏見育崇です。私は放射線診断医師として、PETとMRIを用いた診療、研究、教育を行っていきたくと考えております。画像診断、

機能画像などに興味をお持ちの方はぜひ一緒に活動させていただければと思います。皆様、これから宜しくお願い致します。



つだ まさひろ
津田 真弘

- 所属・職名：薬剤部 教授／薬剤部長
- 就任年月日：2025年11月1日
- 出身高校：愛知県立一宮高等学校
- 出身大学：京都大学
- 就任前の職名：京都大学大学院薬学研究科 臨床薬学教育分野 准教授
京都大学医学部附属病院 薬剤部 副薬剤部長
- 趣味・特技：プロ野球観戦（中日ドラゴンズファン）

2025年11月1日付けで病院薬剤部教授・薬剤部長を拝命致しました。私は愛知県出身で、2001年より京都で大学生、薬剤師、薬学部教員として過ごし、臨床・教育・研究に尽力して参りました。この度ご縁があり、福井の地で生活を送

ることになりました。雪国での生活は初めてですので、ワクワクとドキドキが共存しております。薬剤部のメンバーと協力しながら、医薬品の安全管理を通して、「患者さんからも医療者からも信頼される薬剤部」を作り上げていきたいと思

います。今後ともご指導、ご支援のほどどうぞよろしくお願い致します。



こぶち たけつね
小淵 岳恒

- 所属・職名：福井大学医学部附属病院 高度被ばく医療支援センター 教授
- 就任年月日：2025年7月1日
- 出身高校：福井県立武生高校
- 出身大学：福井医科大学
- 就任前の職名：救急部・総合診療部 講師
- 趣味・特技：登山、ハンドボール（顧問です）

このたび、福井大学医学部附属病院 高度被ばく医療支援センター教授を拝命いたしました。福井で生まれ育ち、学生時代も仕事もずっと福井ですが、実は原子力について深く考える機会は多くありませんでした。しかし救急医として様々な災害対応に携わる中で、福井県におけ

る原子力災害への備えの重要性を強く感じています。

当センターは、全国6番目の指定施設として、平時は被ばく教育・訓練、人材育成、多職種連携を行い、原子力災害時には被ばく患者の受け入れと初期対応・線量評価を担います。

今後は、地域から全国・世界へ貢献できるセンターを目指しつつ、被ばく医療をもっと身近に感じていただけるよう、研修や勉強会なども気軽に参加できる形で企画してまいります。



おぐら そういちろう
小椋宗一郎

- 所属・職名：生命倫理・医療倫理学 准教授
- 就任年月日：2025年9月1日
- 出身高校：岐阜高校
- 出身大学：一橋大学 社会学研究科（専門は社会哲学——小椋注）／静岡大学 人文社会科学部研究科／明治大学 政治経済学部
- 就任前の職名：東海学院大学 人間関係学部 心理学科 教授
- 趣味・特技：趣味は音楽で、最近は寺尾紗穂や折坂悠太の曲が大好きです。クラシックギターでパッサを練習しましたが、挫折中。医学科2年生が再開した「哲学カフェ」に参加するのが楽しみです。

福井大学医学部の皆様に大変親切にいただき、おかげで新任講義もなんとかこなしております。

医学部とはいえ、新入生はまだ大人としての自覚が足りません。ゆくゆく実習等に送り出せるように、誠実な姿勢など当たり前のことから指導し、ちゃんとし

た日本語が読み書きできるレベルには育てたいと考えております。

「生命倫理学Ⅱ」では、進化論、優生学、ナチズム期ドイツ、戦時日本、戦後、現在に至るまで、優生思想史を私なりに論じ切りました。授業準備は艱難辛苦の修行のようでしたが、どれだけ学生た

ちに伝わっていることか…。教え込むのではなく、対話的に、「生命尊重」を活きた理念として心に宿した医療者になれるよう、少しでも役立てればと願います。



うめだ ひろき
梅田 幸寛

- 所属・職名：呼吸器内科学 准教授
- 就任年月日：2025年6月1日
- 出身高校：福井県立藤島高校
- 出身大学：福井医科大学
- 就任前の職名：呼吸器内科学 講師
- 趣味・特技：スポーツ観戦、登山、鉱物採集

この度、2025年6月1日付で呼吸器内科学分野の准教授を拝命いたしました。2000年に福井医科大学を卒業後、内科学(3)分野に入局し四半世紀が経ちました。これまで、高エネルギー医学研究センターの皆様にご指導をいただ

きながら、間質性肺炎やサルコイドーシス、肺癌のPET画像研究を中心に行ってきました。最近では、肺癌の診断や治療にかかわる臨床研究を立案・実施しております。肺癌や間質性肺炎など呼吸器領域の難治性疾患の患者様に対し最

新の治療を提供すると同時に、若手の育成、臨床研究の推進に微力ながら尽力していく所存です。今後ともよろしく願いいたします。



お ない たか ゆき
尾内 隆行

○所属・職名：解剖学 講師
○就任年月日：2025年11月1日
○出身高校：群馬県立太田高校
○出身大学：京都大学
○就任前の職名：解剖学 助教
○趣味・特技：ヴァイオリン、散歩

福井大学医学部・解剖学分野の教員として、これまで8年間、教育・研究および学内業務に携わってまいりました。飯野先生や深澤先生をはじめ、多くの先生方に支えていただき、今日まで研究と教育を続けてこられたことを大変光栄に感

じております。研究面では、今年から「台湾金魚」という少し変わった魚を用いて、鰓呼吸と空気呼吸をあわせ持つ呼吸器官の進化を探るテーマに取り組んでいます。休みの日はもっぱら子ども達と遊んで過ごしていますが、そのエネルギーに

圧倒されつつ、自分自身の活力ももらっています。これからも福井大学の発展と、学生の皆さんの学びに少しでも貢献できるよう努めてまいります。どうぞよろしくお願い申し上げます。



みず の かつ とし
水野 克俊

○所属・職名：分子生体情報学 講師
○就任年月日：2025年6月1日
○出身高校：神奈川県立川和高等学校
○出身大学：筑波大学
○就任前の職名：分子生体情報学 助教
○趣味・特技：読書、弓道

令和7年6月1日付で分子生体情報学分野の講師を拝命いたしました。私は神奈川県出身ですが、大学は茨城、その後アメリカ（ダートマス大）、神戸（理化学研究所）と渡り歩き、令和2年に福井大で教員となり5年が経過いたしまし

た。学生時代から基礎的な細胞生物学に関心を持っています。特に細胞内における物質輸送システムや運動機構に着目し、神経細胞から生殖細胞まで幅広い対象を研究しています。今後も研究のみならず教育の面からも、本学の発展に貢

献できるよう努めてまいります。引き続き、よろしくお願い申し上げます。



さ とう
佐藤 さつき

○所属・職名：内分泌・代謝内科学 講師
○就任年月日：2025年7月1日
○出身高校：新潟県立新潟高等学校
○出身大学：東京女子医科大学
○就任前の職名：内分泌・代謝内科学 助教
○趣味・特技：おいしいものを食べる

2025年7月付で講師を拝命いたしました。私は新潟県出身で、東京女子医科大学を卒業後、福井大学で医師の歩みを始めました。

内分泌・代謝内科学は、糖尿病等の身近な疾患からホルモンに関わる疾患

まで幅広く担当します。人生に長く寄り添う疾患だからこそ、病態を深く考え、対話を通じて健康寿命を支えることに大きなやりがいがあります。また、研究を通じ臨床とは異なる多角的な視点も養われました。研究には無限の可能性があ

りますので、機会があればぜひ積極的に参加してください。

当科は2024年5月に分離独立した新しい教室です。本学の発展に貢献できるよう尽力してまいります。どうぞよろしくお願い申し上げます。



もり た ひろ し
森田 浩史

- 所属・職名：救急部 講師
- 就任年月日：2025年10月1日
- 出身高校：近畿大学附属高等学校理数科
- 出身大学：近畿大学
- 就任前の職名：救急医学 助教
- 趣味・特技：野球観戦（阪神タイガース）、グラム染色

初期臨床研修必修化元年の2004年に研修医となり、マッチングした研修病院の新人オリエンテーションの講師でいらしかった先代教授の寺澤秀一先生に出会い、「心配呈し」から「心肺停止」まで何でも診る北米型ER救急に興味をもち、大学1年生のときの西医体で訪れ

ただけであった福井県に2006年より救急科専攻医として本学に就職し、救急医生活20周年を迎えました。

当院の救急部は、大学病院としては珍しい一次から三次までの全ての救急患者さんを受け入れる北米型ERを、各診療科・各部署・多職種の皆様のご協力

の下で展開しています。学生さんや研修医の先生にとっても絶好の学びの場になると思います。臨床での教育やアカデミアの視点を大切にしつつ、地域の救急医療に貢献していきたいと考えています。どうぞよろしくお願いします。



く どう とも あき
工藤 智明

- 所属・職名：外科学（2）分野 心臓血管外科 講師
- 就任年月日：2025年4月1日
- 出身高校：宇部高校
- 出身大学：山口大学
- 就任前の職名：大阪けいさつ病院 心臓血管外科
- 趣味・特技：スポーツ観戦

このたび2025年4月付で外科学第二講座（心臓血管外科）に着任いたしました。これまで心臓血管外科分野を中心に、臨床・研究・教育に携わってきました。現場での経験を生かし、学生の皆さんが「なるほど」と感じられる、実

践的で身近な授業を目指しています。研究では主に血管外科分野をテーマに、新しい知見を社会へ発信することに取り組んでいます。キャンパスで学生の皆さんと気軽に話し合いながら、ともに学び、成長していけたら嬉しいです。どう

ぞよろしくお願いします。



いな むら そう
稲村 聡

- 所属・職名：泌尿器科 講師
- 就任年月日：2025年4月1日
- 出身高校：埼玉県立熊谷高等学校
- 出身大学：福井大学
- 就任前の職名：泌尿器科 助教
- 趣味・特技：語学学習

2025年4月から、泌尿器科学講座の講師に着任しました。主に排尿機能を専門としております。2000年に福井医科大学に入学し、学生時代は、ソフトテニス部とワンダーフォーゲル部に所属し、福井県の自然を満喫しておりま

した。福井県内の山は、ほぼ制覇したと思います。そこで福井県の良さに魅了され、現在に至るまで北陸に居着いています。当科の臨床・研究の成果を世界へ発信していき、地域医療および泌尿器科医療の発展に力を尽くしていき

たいと考えております。宜しく願いいたします。



かの まさ ふみ
菅野 真史

○所属・職名：耳鼻咽喉科・頭頸部外科 講師
○就任年月日：2025年4月1日
○出身高校：山形県立米沢興譲館高等学校
○出身大学：福井医科大学
○就任前の職名：耳鼻咽喉科・頭頸部外科 助教
○趣味・特技：スポーツ観戦、料理、手術

頭頸部に発生する腫瘍を専門として診療と研究に取り組んでいます。初期治療から再発・難治例まで、全国水準の最先端医療を提供できる体制を整えています。甲状腺に対しては、全国トップレベルの内視鏡手術から薬物治療まで幅広く対応し、唾液腺がんなど希少ながんも専門領域としております。

さらに、光を用いた新しいがん治療や、頭頸部ロボット手術といった先端技術も積極的に導入し、福井にしながら「がんセンター同様の治療」を提供しています。

教育面では、学生や研修医が現場で実践的に学び、将来全国で活躍できる力を身につけられるようサポートいたします。私自身、

日々の診療を通して得た知識や経験をしっかりと還元し、共に成長していける関係を大切にしたいと考えています。

福井に残っても最先端の医学が学べます。学生の皆さん、福井に残って、ぜひ一緒に働きましょう。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。



たか た けん じ
高田 健次

○所属・職名：放射線科 講師
○就任年月日：2025年11月1日
○出身高校：金沢大学教育学部附属高等学校
○出身大学：福井大学
○就任前の職名：放射線科 助教
○趣味・特技：猫吸い 生ドーナツ巡り

2025年11月1日付で放射線医学・講師を拝命いたしました。生まれは石川県金沢市ですが、2005年4月に福井大学へ入学して以来、20年以上にわたり福井県で生活してきました。気づけば、人生の半分以上を福井県で送っています。

専門は画像診断および血管内治療で、特に低侵襲な血管内治療に力を入れて診療・研究に取り組んでいます。画像診断を基盤とした的確な治療選択と安全な手技の提供を通じ、地域医療に貢献することを目標としています。今後も福井

県の医療を支える一員として、診療・教育・研究に真摯に取り組んでまいります。どうぞよろしくお願いいたします。



たか はし なお き
高橋 直生

○所属・職名：検査部 講師
○就任年月日：2025年4月1日
○出身高校：新潟県立新潟高等学校
○出身大学：昭和大学
○就任前の職名：腎臓内科 助教
○趣味・特技：どこでもすぐ寝られる

検査部の高橋直生（たかはし なおき）です。新潟市出身です。新潟県立新潟高等学校を卒業後、昭和大学、新潟大学大学院へと進学しました。大学時代の多くをバドミントン部で過ごし、勉強よりもシャトルを追いかけていた時間の方が

長かったように思います。仲間に恵まれた、かけがえのない学生時代でした。

その私が、現在は福井大学で学生の皆さんに教える立場になっているのですから、本当に人生は不思議です。この20年で医学は大きく進歩し、臨床検査医学

も日々アップデートされています。「興味を持ったときに学び時」。皆さんと一緒に、新しい知識を楽しみながら身につけていければと思っています。よろしくお願いいたします。



おおにし ひでのり
大西 秀典

- 所属・職名：地域医療推進講座 講師
- 就任年月日：2025年7月1日
- 就任前の職名：地域医療推進講座 助教
- 趣味・特技：釣り・映画鑑賞・神社仏閣巡り＆ラーメン食べ歩き

2025年7月1日付で、地域医療推進講座講師を拝命いたしました。

私は富山県出身で、2014年より福井大学大学院において災害医療の研究に従事してまいりました。博士号取得後も、災害医療領域における学術研究およ

び社会貢献活動を継続しております。災害医療を効果的に推進するためには、平時からの地域連携体制の構築が重要であるとの信念のもと、地域をフィールドとしたサルコペニア・フレイル・認知症予防に関する社会実装研究にも積極的

に取り組んでおります。今後は、これまでの研究・実践経験を生かし、研究・教育・社会貢献の各領域において職責を果たすべく、より一層精進してまいりますので、何卒ご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



たま よしなお
玉 直人

- 所属・職名：不整脈心不全先端医療講座 特命講師
- 就任年月日：2025年4月1日
- 出身高校：福井県立高志高等学校
- 出身大学：福井医科大学
- 就任前の職名：循環器内科 特命助教
- 趣味・特技：最近身体に年齢を感じるようになりジョギングを始めました。
あとは学会でいろんな県に行くことが多いのでそこでしか食べられないグルメを食べることです。

循環器内科医師になり24年目になります。循環器疾患は多岐にわたりますが、なかでもペースメーカーや植え込み型除細動器などのデバイス治療と肺循環を専門としています。医療が発展した現代でも毎年たくさんの不整脈による突然

死があり、日本では世界にくらべて不整脈予防治療が少ないとされています。デバイス治療は日々進化しており、適切に管理すれば日常生活には今まで通り送ることができます。丁寧な説明で正しい情報を患者さんと家族に理解してもらう

ことでデバイス治療にnegativeにならずに福井県から心臓突然死をなくすことを使命として取り組んでいます。授業や実習を通してダイナミックに動く心臓に興味を持ってもらえるとうれしいです。



令和7年度学長表彰、医学部優秀学生表彰 >>>

福井大学では、学業成績の優秀者や、課外活動及び社会貢献活動等において特に優秀な成績や功績をおさめたと認められる学生に対して、表彰を行っています。令和7年度は、下記の学生が表彰されました。

《学長表彰》

医学科／	さ さ き ひで き 佐々木 英気	医学科において学業成績が特に優秀であったため
看護学科／	おおつか あい こ 大塚 愛子	看護学科において学業成績が特に優秀であったため
医学系研究科博士前期課程／	なか の ともたか 中野 文賢	博士前期課程において学業成績が特に優秀であったため
医学系研究科博士課程／	ふくおか あや か 福岡 彩加	内外の学会等で高く評価される研究業績を上げたため

《医学部 成績優秀学生表彰》

医学科／	さ さ き ひで き 佐々木 英気	くまざき まう さとう いずる 熊崎 真羽／佐藤 出
看護学科／	おおつか あい こ 大塚 愛子	ちか ま ゆ な いんきょ も も か 近間 結菜／隠居 萌々香
	たにおか すず 谷岡 紗	



左から熊崎さん、佐々木さん、佐藤さん



左から正木さん、國枝さん、石田さん

《医学部 優秀学生表彰》

医学科／	いし だ りょうそう 石田 凌三	くにえだ みつひと まさ き かつ や 國枝 光仁／正木 克弥
課外活動／	バドミントン部／サッカー部／東洋医学研究会	



左から隠居さん、近間さん、大塚さん、谷岡さん

令和7年度卒業生からの寄贈品 >>>

今年度卒業生から、以下のご寄贈を頂きました。ありがとうございます。大切に活用させていただきます。

医学科6年次生

『薬がみえるvol.1～4』他6冊
(附属病院西7階MILCに設置予定)

看護学科4年次生

福井大学医学部「暁祭」への寄附

令和7年度卓越した学生に対する優秀学生奨励賞 >>>

福井大学では、福大ビジョン2040に掲げる「卓越高度職業専門人の育成」の推進を目的として、令和7年度から卓越した学生に対する優秀学生奨励賞を設けました。

令和6年度は医学部では医学科5年生8名、看護学科3年生6名が学部優秀学生として選出され、令和7年7月に医学部長室で表彰式が行われました。

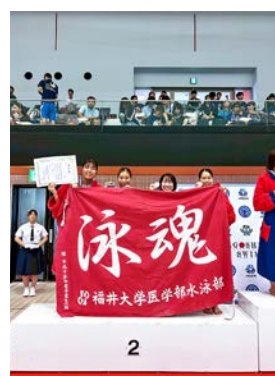


第77回西日本医科学生総合体育大会 総合準優勝 >>>

第77回西日本医科学生総合体育大会（通称「西医体」）は鹿児島大学を主管校として令和7年8月に開催されました。福井大学医学部は総合準優勝の素晴らしい成績を残しました。

部活・サークル名	男子総合 順位	女子総合 順位	男子個人順位	女子個人順位
サッカー部	準優勝			
陸上競技部	10位	17位	男子400m 1位 深草 秋陽（医2年） 男子三段跳 3位 鈴木 陸史（医1年）	女子400mH 1位 光藤 遥（医1年）
女子硬式庭球部		ベスト16		
男子バレーボール部	ベスト16			
バドミントン部	優勝	準優勝	男子ダブルス 1位 安間 健藏（医6年） 西島慎大朗（医6年） 男子ダブルス ベスト8 安間仁之輔（医3年） 杉谷 佳宥（医1年）	女子シングルス 1位 溝口なつめ（医3年）
水泳部		4位	100m自由形 6位 落合 純大（医3年） 200m自由形 2位 落合 純大（医3年） 200m個人メドレー 7位 山本 晃暉（医1年） 200mバタフライ 6位 山本 晃暉（医1年）	200m個人メドレー 7位 嶋根 理紗（医2年） 50m自由形 8位 嶋根 理紗（医2年） 200m自由形 6位 西村英利香（医4年） 400m自由形 4位 西村英利香（医4年） 100mバタフライ 2位 小東 あい（医5年） 50mバタフライ 1位 小東 あい（医5年） 100m背泳ぎ 6位 滝 裕美（医5年） 50m背泳ぎ 3位 滝 裕美（医5年）
卓球部			男子シングルス 2位 山口 玲生（医2年）	
弓道部	10位	17位		
男子バスケット ボール部	3位			

※各団体からの報告に基づく
※学年は参加当時のものです

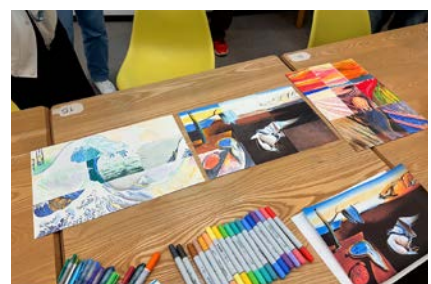


第75回北陸三県大学学生交歓芸術祭 >>>

北陸三県大学学生交歓芸術祭は、北陸地区の国公立大学から文化系サークルが集まり、各大学の活動内容を発表し合う場として、毎年開催しています。

吹奏楽・邦楽・美術・管弦楽・軽音楽・写真・書道・茶道の8部門があり、令和7年度は本学松岡キャンパスが主管となり、下記のとおり開催されました。

部 門	場 所	開催期間	参加大学
吹奏楽	ハートピア春江・ハーモニーホールふくい	令和7年11月22日(土)～23日(日)	富山大学、金沢大学、石川県立大学、金沢星稜大学、金沢工業大学、北陸大学、北陸学院大学、福井工業大学、福井大学
邦 楽	福井大学医学部附属病院臨床教育研修センター白翁会ホール	令和7年10月25日(土)	富山大学、金沢大学、金沢学院大学、北陸大学、福井大学
美 術	福井大学松岡キャンパス講義棟	令和7年10月5日(日)	富山大学、金沢大学、福井大学
管弦楽	鯖江市文化センター	令和7年11月8日(土)～9日(日)	富山大学、金沢大学、福井大学
軽音楽	HALL BEE	令和7年11月29日(土)～30日(日)	富山大学、金沢大学、福井県立大学、仁愛大学、福井工業大学、福井大学
写 真	福井大学アカデミーホール	令和7年11月29日(土)	富山大学、福井大学、金沢工業大学、金沢大学、金沢星稜大学
書 道	福井大学アカデミーホール	令和7年10月11日(土)～12日(日)	富山大学、金沢大学、福井大学
茶 道	福井市美山公民館	令和7年9月13日(土)～14日(日)	富山大学、富山県立大学、金沢大学、北陸大学、福井大学



留学体験記

みや た きょう の すけ
医学科5年 宮田 恭之介
※参加当事の学年です。

IFMSAのSCOPE留学の制度を利用して、フィンランドのOuluという都市のOulu大学病院のEmergency Medicine Departmentで8月に4週間の臨床実習を行いました。1日8時間にわたり、救急医療の現場での医療従事者をobserveしました。救急の現場での仕事は大きく3つに分かれます。一つはwalk-inでこられた患者の診察、問診。もう一つは救急車やドクターヘリで搬送されてきた緊急の患者の初期対応をするacute care室での業務。最後は、それらの患者の初期対応以降、他科に紹介するまでや、ICUに行くほどではないが緊急性の高い患者が入院する患者の対応です。基本的にはacute care室での業務を中心にobserveしましたが、すべての業務を見学させていただきました。現地の医療従事者や患者との会話はフィンランド語で行われていましたが、救急医やparamedicの方、看護師を中心に英語で説明してく

ださったので、状況がよく理解できました。また、動脈穿刺や心エコー、FAST、nasolaryngeal tubeの挿管、IVカテーテル挿入などさまざまな手技も体験させていただきました。また心音や肺音の聴診、胸腹部の触診などもさせていただきました。実際の現場で英語で実習をするのが初めてで、特に救急はさまざまな疾患の方があるので医学英語に一抹の不安はありましたが、大きな問題なく実習を終えることができました。また、実際の症例では、日本ではあまり多く見られない若者の薬物中毒の患者を数件見ることができたのも貴重な経験となりました。フィンランドは土地が広大で一つの大学病院が担う範囲が広いので、救急車やドクターヘリでも病院に搬送されるまで1時間以上かかることもあると知り驚きました。IFMSAを通じての留学だったこともあり、受け入れをしてくれたフィンランド人の医学生や、各国から留学に来た私と

同じ境遇の医学生たちと交流の機会が多く、実習外で遊びに行ったりと公私共に充実した4週間となりました。



臨床講義棟の改修工事が完了しました！

松岡キャンパス附属病院棟内にある臨床講義棟は、築41年を迎え教育環境としての機能低下や耐震対策が喫緊の課題でした。そこで、安心安全な教育環境を目指して臨床講義棟の改修工事が令和7年7月より着工し、令和8年2月末に完成しました。



令和8年度 福井大学医学部授業日程 >>> from 学務課

■変更となる可能性があります。ホームページ等にて随時情報を発信しますので、ご確認ください。

※夏季・冬季・春季休業日は、学科、学年によって異なります。必ず最新の授業時間割で確認してください。

4月

- 1日～ 医学科5年実習(予定)
- 6日 入学式
- 7日～8日 新入生オリエンテーション
- 9日 前期授業開始
- 9日～15日 履修科目登録期間
- 16日～20日 登録確認・修正期間
- 16日 新入生研修1日目
- 24日 新入生研修2日目

5月

- 1日 納骨式(医学科2年)、動物慰霊祭
- 2日 合同慰霊祭・御遺骨返還式(医・看護2年)
- 7日～ 医学科6年実習(予定)
- 7日～22日 看護学科4年実習(予定)
- 5月下旬～ 看護学科3年実習(予定)
- 3月上旬

7月

- 7月上旬 医学科6年 医師国家試験予備校模試(予定)
- 7月下旬 医学科4年 共用試験CBT予備校模試(予定)

8月

- 8月上旬 看護学科1年実習(予定)
- 6日～9月末 夏季休業*
- 7日 オープンキャンパス
- 12日～14日 大学一斉休業
- 8月上旬～下旬 西医体(未定)

9月

- 19日 医学科6年 Post-CC OSCE(予定)
- 30日 学位授与式(9月卒業生)
- 29日～30日 医学科6年 卒業時学科試験(第1回)(予定)

10月

- 1日 入学式(大学院)、後期授業開始
- 1日～7日 履修科目登録期間
- 8日～14日 登録確認・修正期間
- 6日 医学科4年 共用試験CBT
- 11日～12日 晩祭(9日 晩祭準備のため休講)
- 13日 晩祭後始末のため医学科3年のみ午前休講
- 17日 医学科6年 Post-CC OSCE(追再試験)
- 27日～28日 医学科6年 卒業時学科試験(第2回)

11月

- 7日 医学科4年 共用試験OSCE
- 17日 医学科4年 共用試験CBT(追再試験)
- 28日 医学科4年 共用試験OSCE(追再試験)

12月

- 11日 医学科4年 共用試験CBT(臨時再試験)
- 17日～18日 医学科6年 卒業時学科試験(第3回)(予定)
- 28日～1月3日 冬季休業*

1月

- 5日～ 医学科4年実習(予定)
- 15日 入学試験準備のため休講
- 16日～17日 大学入学共通テスト

2月

- 上旬 看護学科2年実習(予定)
- 8日～ 春季休業*
- 24日 入学試験準備(24日～26日入構禁止)
- 25日～26日 入学試験[前期日程]

3月

- 上旬 看護学科2年 JANPU-CBT(予定)
- 11日 入学試験準備(11日～12日入構禁止)
- 12日 入学試験[後期日程]
- 23日 学位記授与式

部活動・サークル紹介

男子硬式テニス部 >>>

男子硬式テニス部では、西医体優勝、全学とのリーグ戦での勝利を目標に、週3回（火・木・土）、一日3時間のペースで活動しています！またテニスは個人戦なので各々が目標を設定し、それに向けて練習を行っています。コートが9面あり、部活がない日でも自主練が思う存分にできます。また、練習では先輩からアドバイスを受けて初心者からでも上達できます！部員数は多くないですが、その分チームの団結力はハンパないです！

勉強面では、福井は冬に雪が降るのでオフシーズンと活動時のメリハリがあり、冬の試験が忙しい時期などは勉強に集中することができます！

普段は男女別々で活動していますが、肝試し、ミックスダブルス、暁祭などのイベントでは男女一緒に活動しています！初心者もたくさんいて、テニスが好きな方ならだれでも大歓迎です！

僕たちとともに目標に向かってアツくなれる方を待ってます!!!!

そんな方はぜひ試合や練習に遊びに来てください！



女子硬式テニス部 >>>

こんにちは、女子硬式テニス部です！私たちは松岡キャンパステニスコートで週3回練習をしています。練習の時はしっかりと練習に励み、終われば部員全員でふざけあったりメリハリのついた部活です。正直言って、とても楽しい部活です！

テニス経験者はもちろん、初心者も大歓迎です！部員の中でも初心者が半数を占めています！

イベントは男子部と一緒にいきます。部内MIXダブルス大会のあとはみんなで海に行き、BBQ！3月にはみんなでユニバにも行きます。他にも肝試しやハロウィンなどイベントは盛りだくさん！

女子硬式テニス部の魅力はメリハリのついた部活であることと、先輩後輩関係なく、とてつもなく仲の良いところですよ！くずりゅうを見て興味を持ってくださった方は、是非1度遊びに来て見てくださいね！部員一同お待ちしております。

ソフトテニス部 >>>

こんにちは！福井大学医学部ソフトテニス部です。私たちは火・木・土の週3で大学横のテニスコートで練習しています。部員は約80人とトップクラスの多さです！大会は主に、5月、7月、8月、11月にありどれも盛り上がる大会です。7、11月に行われる東海大会では、看護学科と共に同じ大会に臨めるので、部員同士の絆をより深めることが出来ます。1年で最も規模の大きい大会が8月にある西医体です。これは西日本の医学科の大学が集まる大会になります。男子は約400ペア、女子は約200ペアも出場します。これほどの規模の大会を経験したことのある人はいないのではないのでしょうか？大盛り上がるの大会で見ているだけでも楽しいです！この大会では先輩たちとの仲を深める絶好の機会、普段関われない学年との絡みは刺激的で非常に楽しいです。ぜひ、ソフトテニス部におこしく下さい！



卓球部 >>>

新入生の皆様、ご入学おめでとうございます。卓球部です！

現在、部員は医学科看護科合わせて約40人で、毎週火、金、土の週3回活動しています。参加は強制ではないので、試験前に勉強を優先することも可能です。気軽に卓球したい人から、バリバリ練習したい人まで様々な部員がいます。卓球は大学はじめてという人でも、先輩が丁寧に楽しく教えてくれるので安心して下さい！

大会は、6月の北4（北陸の4大学で行う大会）、8月の西医体、3月の西医歯薬（西日本の医薬系の学生が集まる大会）などに参加しています。他県に遠征しての試合があるときは、みんなで観光したりおいしいものを食べたりと楽しいことがたくさんあります。また、部活外でもスノーボードやボードゲーム、釣りなどイベントが盛りだくさんです。

皆さんも卓球部に入って大学生活をより楽しいものにしませんか？入部お待ちしております！



剣道部 >>>

こんにちは！私たちは火、木、土の週3日、福井県立大学剣道部と合同で活動しています。大学や男女、先輩後輩の垣根がなく、とても仲の良い部活です。稽古は2時間で集中して取り組み、それ以外では部飯やバーベキュー、観光などを楽しんでいます。

試験前の休みの融通も利き、イベントなどの参加も自由なので、自分自身に合わせた活動をすることができます。

経験者はもちろん、初心者、マネージャー大歓迎です！大学の剣道部はそれぞれが目的を持って活動しており、小中高の部活とは雰囲気が違ってとても楽しいですよ！

新品の防具の貸し出しをしているので、初心者や防具を捨ててしまった方でも大丈夫！部員の中には、大学から剣道を始めた人や小学生、中学生以来の人、剣道のことを全く知らなかったマネージャーもいます。剣道は敷居が高いイメージかもしれませんが、実は運動神経の良し悪しに左右されにくく、大人になってから始める人も多い競技です。始める時期、ブランク、関係ありません！私たちがサポートするので一歩踏み出してみませんか？

剣道部一同、皆さんをお待ちしております！！

バドミントン部 >>>

新入生のみなさんご入学おめでとうございます！

私達バドミントン部は月水土の週3回、松岡キャンパスの体育館で練習を行っています。部員は83名おり、医学部最大規模の部活動で学年や男女問わず仲良く活動しています！

2025年度の西医体では、男子団体優勝、女子団体準優勝、男子ダブルス優勝、女子シングルス優勝と輝かしい成績を収めています！一方で今までバドミントンをしたことのない初心者の人が過半数で、どのレベルの人でも楽しめる部活になっています。

また他大との交流戦やイベントがたくさんあるのも魅力です。遠征に行き試合終わりにみんなで遊んでから帰ったり打ち上げをしたり、夏には海に行きBBQをしたり冬にはコテージを借りてみんなで泊まったりしています！

是非1度バドミントン部に遊びに来て、部活の雰囲気を見にきてください！



男子バスケットボール部 >>>

一年生の皆さん、ご入学おめでとうございます。男子バスケットボール部は現役プレイヤー19人、マネージャー6人で活動しています。週に3回(月、水、金or土)に活動しており、西医体で優勝することを目標として日々練習に励んでいます。プレイヤーは経験者が多いですが、大学から始めた人も多く、経験者に混じり試合で活躍しています。

また男子バスケット部では、バスケット以外にもBBQや忘年会、追いコンなどさまざまなイベントがあり、また練習試合や大会の遠征先では観光もしています。新歓でもさまざまなイベントをしているので楽しみにしておいてください！

私たちは真剣に練習しているからこそ、チームとしての絆が強い部活だと思います。上下間もとても仲が良く、チーム全員が意見しやすい雰囲気を目指しています。

プレイヤー、マネージャー共に医学科看護学科問わず募集しておりますのでぜひ一度、気軽に遊びに来てください！

〔昨年度成績〕 ・近畿中国四国医科学生バスケットボール大会 優勝
・北陸地区国立大学体育大会 優勝
・西日本医科学生総合体育大会 3位
・近畿医科歯科薬科学生バスケットボール大会 優勝



女子バスケットボール部 >>>

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます！

私たち、女子バスケットボール部は、プレイヤー12人、マネージャー1名の計13人で活動しています。みんなで楽しく、笑顔でバスケットをすることをモットーに、経験者、初心者関係なく、部員全員で頑張っている部活です。大会で勝つことができるように、日々の練習や他校と練習試合をしながら、スキルアップを目指しています。

女子バスケット部は、バスケットだけでなく、いちご狩りやBBQ、大会後の観光、忘年会や追いコンなどたくさんのイベントがあり、どれも全力で楽しんでいます。キャンパスライフの輝かしい思い出になること間違いなし！皆さん、ぜひ女子バスケットボール部へ！

女子バスケットボール部一同、心よりお待ちしております。



準硬式野球部 >>>

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます！ここでは、私たちの活動についてご紹介させていただきます。

準硬式野球部は、プレイヤー23人、マネージャー8人で毎週火・木・土の週3回活動しています。大きな大会は北信越の全学が集う春季、秋季大会、そして8月の西日本医科学生総合体育大会(西医体)の3つであり、これらに照準を合わせて日々練習しています。

冬の期間は週2回の練習となり、テストの多い期間は、勉強に励むため練習を休むことができる制度も設けております。そのため勉強との両立が可能で、バイトや趣味に打ち込むことができます。

また、練習や試合に全力で打ち込みながらも、海水浴や球技大会、BBQ、スノボなどのイベントも盛んです！晩祭にも積極的に参加し、メリハリをつけて楽しく部活動に取り組んでいます。ぜひ一度練習に遊びに来てください！



伝統空手道部 >>>

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます！

伝統空手道部は現在8名の部員が所属し、月・水・土の週3日、武道場で活動しています。「伝統空手」と聞くと堅苦しいイメージを持たれるかもしれませんが、そんなことはありません！大学から空手を始めた部員も多く、学年を越えて楽しく練習しています。空手は個人競技のため、自分のペースで取り組むことができ、学業やアルバイトとの両立も可能です。伝統空手には「形」と「組手」の2種目があり、どちらかを極めるのも、両方に挑戦するのも自由です。「黒帯を取りたい」「大会に出場したい」「とにかく体を動かしたい」など、部員たちはそれぞれの目標を持って日々稽古に励んでいます。

InstagramやXでは、活動の様子を随時発信しています。ぜひチェックしてみてください。皆さんと武道場でお会いできるのを、部員一同心よりお待ちしております！



柔道部 >>>

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます！柔道部です！

柔道部は毎週火曜日、木曜日、土曜日の3日間、場所は武道場に稽古をしています。部員数は6名ほどですが、そのためにアットホームな雰囲気であり、先輩とも分け隔てなく和気藹々と楽しく稽古することができています！柔道と聞くと“怖い”などのイメージがあったりと思いますが、実際はそうでもなく、女子部員や大学から柔道を始めた人もいますので、経験者や未経験者を問わずに、興味があればぜひ見に来てください！また、先輩後輩の仲がいたために、部活動だけでなく勉強においても親身になって相談に乗ってくれたり、テストの前にしっかりと部活動の休みをもらえたりと、勉強面でも無理なく部活動を続けることができます。男女・経験問わず、少しでも柔道に興味を持ってもらえたらと思います！気軽に見学や遊びに来てください！部員一同心よりお待ちしております！！

ラグビー部 >>>

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。これから始まる大学生活に期待や不安を感じている事と思います。福井大学医学部ではさまざまな部活やサークルが活動しています。部活やサークルに所属することで先輩後輩含め交友関係が生まれ、勉強だけでなくこういった活動に打ち込む事でより楽しく充実した学生生活を送ることができます。この場を借りてラグビー部についての紹介をさせていただきたいと思います。

ラグビー部は現在37人で活動しており、部員のほとんどは大学からの初心者です。練習は基本、火・木・土の週3回行っています。夏には西医体という大きな大会があり優勝を目指し、日々励んでいます。試験の多い冬場にはオフ期間もあり、勉強の負担にもならず進級間違いなしです。ラグビー部は部活以外にも夏には海へ行ったり、バーベキューをしたりと楽しいイベントも特徴です。2019年に日本で開催されたラグビーワールドカップでは日本中が大熱狂の渦に巻き込まれ、ラグビーブームが沸き起こりました。その活躍ぶりは皆さんの耳にも入ったのではないのでしょうか。そしてついに今年はワールドカップがフランスで開催されます。今、日本で最もアツいスポーツであるラグビーに、プレイヤー・マネージャーとして一緒に触れてみませんか？興味があってもなくても新入生の方は気軽にぜひ一度遊びに来てください！

男子バレーボール部 >>>

こんにちは！男子バレーボール部です！バレーボールは、テレビの試合中継や漫画、アニメの影響で人気沸騰中の今とてもアツいスポーツです。そのいちばんの魅力は、チーム全員が「自分たちのコート内にはボールを落とさせない」という意志を共有し、1つのボールを必死に追いかけて仲間につないでいくこと。一人一人の強い意志は、観客をも巻き込んで会場全体を熱く盛り上げていきます。この一体感を一度経験してしまえば、その虜になること間違いなしです！私たちは、昨年度夏に行われた西医大で優勝し、西医大連覇を目標に掲げ日々練習に励んでいます。プレーヤーの半分以上が大学からバレーボールを始めた初心者ですが、試合では経験者に見劣りしないほど活躍しています。大学で新しいスポーツを始めたいという初心者の方も大歓迎！アツい仲間が欲しい！スポーツで結果を残したい！イベントで楽しく盛り上がりたい！あなたの想いを叶えられる男子バレー部へぜひ！プレーヤーはもちろん、マネージャーも大募集中です！！



女子バレーボール部 >>>

新入生の皆さん、こんにちは！女子バレーボール部です！

私たちは火・木・土の週3回、医大体育館や外部の体育館で練習をしています。女子だけなのでみんなのびのびと、わいわい楽しく練習しています！経験者だけでなく、大学からバレーボールを始めた部員や、大学からスポーツを始めた部員も多く活躍しています！！大会でより良い成績を残すことを目指して全員で意見を出し合いながら日々の練習に励んでいます。昨年度は西日本メディカル女子バレーボール大会で4位という好成績を残しました！勉強が大変な時でも部活に行ってみると練習することがとても良いリフレッシュになっています！

バレーボールに興味のある方！勉強も頑張りたいけど運動もしたい方！わいわい楽しく部活に参加したい方！ぜひ一度女子バレーボール部に遊びに来てください！マネージャーも大募集中です！！新歓で皆さんに会えるのを部員一同楽しみにしています！

[X] @fukuimedvolley [Instagram] fukuimedvolley



サッカー部 >>>

皆さん初めまして、福井大学医学部サッカー部です！私たちは現在プレーヤー22名、マネージャー11名の計33名で、西医体優勝を目標に掲げ、火・木・土の週3日間活動しています。練習メニューは自分たちで考え、真面目に一生懸命取り組んでいます。大変で辛い時もありますが、それを乗り越えたときの達成感や楽しさはひとしおです！今シーズンはコロナの影響もあり、中止になった大会もありますが、ここからは対戦成績について紹介します。今シーズンは東海医歯薬大会準優勝、昨シーズンは北陸4校戦優勝、近畿医歯薬大会3位、東海医歯薬大会3位、天皇杯3回戦進出となっています。また、私たちの部活は先輩後輩の仲も良く、部活以外にも海やBBQ、スノボなどの活動もしています。経験者、未経験者ともに大歓迎です！少しでも興味ある方は遊びに来て下さい！個性豊かな部員がお待ちしております！XやInstagramなどでも活動内容を報告しているので、そちらもよろしくご覧ください！

陸上競技部 >>>

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます！！

我々陸上部は週に3回、火・木・土曜日に活動しています。この陸上部の最大の特徴は、なんといっても競技ブロックとジョグブロックに分かれて活動していること！

競技ブロックは皆さんが陸上部と聞いて想像するような活動をしています。短距離と長距離に分かれて練習しており、初心者から経験者、果ては全国大会を目指すような人まで、いろいろな人が自分の目標に向かって頑張っています。

ジョグブロックはその名の通り、学校の周りや公園をゆっくりと走るという活動が中心です！走るのが好きだけどゆるくやりたい人、運動不足を解消したい人、兼部したい人など、こちらも色々な人が所属しています。

競技ブロックのマネージャーも大募集中です！！

日々の活動は競技、ジョグで別ですが、バーベキューやマラソン大会など様々なイベントと一緒に楽しくやっています。是非一度陸上部に遊びにきてね～



競技スキー部 >>>

新入生の皆さん、入学おめでとうございます！こんにちは、競技スキー部です。競技スキー部では4月～11月はオフシーズンでゆるく楽しくインラインスケートや陸上トレーニングを行い、12月にシーズンインし、3月までは休日をメインにコーチや他大学のチームメイトとともにスキーの練習をしています。競技スキーにはアルペン部門とクロスカントリー部門があります。

アルペンスキーは斜面に立てられた旗門に沿って滑り降りてそのタイムを競うスポーツで、早く滑り降りる爽快感は格別です！クロスカントリースキーは平地を進んだり、急な坂を登ったり、多様なコースを駆け抜け、そのスピードを競うスポーツです。

競技スキー部の魅力は文京キャンパスの部員や富山大学、金沢大学の方々と一緒に合宿をするため、他大学との交流が盛んなところです。初心者から始めた部員は他大学にも多く西医体での好成績を目指して全部で30～40人が集まって合宿を行うので毎日楽しく、充実した練習ができます！

せっかく雪国の大学に入学したからには一緒にスキーをしませんか？みなさんと一緒に部活動ができる日を部員一同楽しみにしています！

水泳部 >>>

新入生のみなさん、ご入学おめでとうございます！水泳部の活動は火金の週2回、メインの大会である西医体と西コメに向けて練習をしています。昨年は西医体水泳部女子部門総合優勝、男子、女子個人入賞がたくさんありました！水泳部ではありますが泳ぐだけではなく！月1で球技をしたり、冬にはみんなでスキーやスノボをしに行ったりもしています！水泳部の一番の魅力は部活の雰囲気が良いところです。1～6年生まで部員全員がとても仲良しなので、楽しい雰囲気の中で練習を頑張ることが出来ます！個人的には練習の合間にみんなでわちゃわちゃしゃべっている時間がすごく楽しいです。楽しそうだけど泳げない...という方も大丈夫です！先輩方が優しく、楽しく泳ぎ方をおしえてくれます！部員の半数以上は初心者ですが、なぜかみんな夏ごろには泳げるようになっていきます。不思議ですよ！初心者から経験者まで大歓迎です！ぜひ水泳部に遊びに来てください！部員一同お待ちしております！



ゴルフ部 >>>

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます！

ゴルフ部ではほとんどの学生が大学からゴルフを始めており、部員は自分のペースでゴルフを楽しんでいます。ゴルフクラブの握り方からラウンドマナーまで、先輩が丁寧に教えてくれます！

活動は毎週月曜日と水曜日に打ちっぱなしで練習し、休日に希望者でラウンドに行っています。夏には、西医大、合宿、秋には部内コンペや晩祭など楽しいイベントがたくさんあります！

ゴルフの醍醐味はやはりラウンドです！ラウンドでは、春夏秋冬それぞれの自然を見ながら、広大なゴルフ場で楽しい仲間と勉強のリフレッシュをすることができます！ゴルフ場でナイスショットした瞬間は最高です！

大会に出てバリバリゴルフしたい人、自然の中で楽しく運動したい人などゴルフに少しでも興味がある人は大歓迎です！新歓では打ちっぱなしを体験してもらえます。ぜひ一度ゴルフ部に遊びにきてください！部員一同お待ちしております！



弓道部 >>>

新入生の皆さんご入学おめでとうございます！福井大学医学部弓道部は医学部21人（男子8人/女子13人）と看護科5人（女子5人）で活動しています。活動場所は松岡キャンパス敷地内にある弓道場で、火曜、木曜、土曜の週3回練習をしています。弓道部の一番の魅力は学年分け隔てなく仲の良いところです！弓道と聞くと「上下関係が厳しそう…」といったイメージを持つ方も多いと思いますが、普段の練習では先輩後輩関係なく互いに指導し合い和気あいあいと弓道に取り組んでいます。そんな弓道部ですが、何と大学から弓道を始めた部員が8割以上で、今まで運動経験がなかった人でもと〜っても始めやすいですよ！少しでも興味があればぜひ一度見学に来てくださいね。最後に、弓道はひたすらに自分と向き合い、自分と戦っていく武道です。一生に一度の大学生活、私たちと一緒に未知なる自分を「探弓」してみませんか。



ハンドボール部 >>>

新入生のみなさん、ご入学おめでとうございます！

みなさんはハンドボールという競技を知っていますか？ ハンドボールは、攻守の切り替えが速く、激しい接触プレーがあり、また、高度な戦術も展開されるカッコいいスポーツです！ 永平寺町には、福井永平寺ブルーサンダーというプロチームが存在します！ 日本トップリーグの試合が目の前で観られる地域でもあるのです！

私たちハンドボール部は、主に火、木、土曜日に3時間程度、医大体育館や外部体育館で活動しています！部員の半数以上が未経験からハンドボールを始めているので、初心者でも大歓迎です！

練習だけでなく、海水浴や、ハロウィンなど、イベントも楽しくやっています！

一緒にハンドボールをしませんか？？ ぜひ一度、ハンドボール部に来てみてください！

インスタもやっているので、練習の様子などチェックしてみてください！

[Instagram] fukui_med_handball_official



フットサルサークル >>>

こんにちはフットサルサークルです。フットサルサークルは月に2・3回、外部の体育館を借りて活動をしています。初心者から経験者まで様々な学年が集まり、ワイワイ楽しくゲームをしています。時間が余ったときにはPK合戦などを楽しんでいます。今年はコロナウイルスの影響であまり活動できていませんが、来年度は様子を見つつ再開出来るように願っています。また、大会などにも出られたらいいなと考えています。部活に入っている人も多いため、いろんな部活の方と交流することもできますし、様々な部活の方から話を聞くことが出来るのが良い点だと思います。活動は強制ではなく、予定の空いているメンバーが集まっていますので、ぜひ、興味のある方はお時間のある時に参加してみてください。お待ちしております。

ダンスサークルRAMSY >>>

私たちRAMSYは2017年に発足したダンスサークルです。経験、性別を問わずダンスに興味がある人が集まり、学祭と新歓ライブの年2回の発表を目標に頑張っています。現在やっているジャンルはK-POP、ブレイク、HIPHOPなどで、各自が興味のあるジャンルを自由にいくつでも練習するという形式でやっています。RAMSYはサークルなので別の部活との兼部や勉強との両立も可能です。部員の多くが兼部しています。練習は毎週金曜日の午後7時から9時までで、発表前はそれぞれのグループで自主練をして仕上げていきます。部員の大半が大学からダンスを始めているので、初心者でも気軽に参加できますし、学年関係なくアドバイスし合いながら進めていくアットホームなサークルです。実際にどんなダンスをしているか気になった方は、YouTubeで「RAMSY 福井大学」と検索したり、Instagramの投稿を見たりしてもらえば、過去の学祭や新歓ライブの動画が出てくるので、ぜひ1度ご覧ください。少しでも興味のある人は気軽に練習に来てくれると嬉しいです！

[Instagram] ramsy_fukui.dance



軽音部 M-ROCK >>>

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。私たちは、福井大学医学部の軽音部「M-ROCK」です。

M-ROCKの主な活動内容は、個人およびバンド単位で日々の練習をし、ライブに向けて研鑽を重ね、部内または外部の人に向けて、その成果を発表するというものです。

軽音部と聞くと、敷居が高いと言いますが、なんだか初心者が入りづらかったり、お金がかかるといった、マイナスイメージを持たれている方も少なくないとおもいます。しかし、M-ROCKは違います。初心者の人には、同じバンドや同じ楽器の先輩たちが優しく教えてくれるため、今まで楽器を全く触ったことのない人でも楽しんで活動していただけます。また、経験者の人がその実力を発揮できる場も設けられているため、個人個人が自分の好きなペースで活動できる部活でもあります。さらに、現在の部員の男女比および医学科看護科の人数比は、どちらもおよそ1:1であるため、本当にどなたでも入部していただける部活であると自負しております。

練習はバンドごとに日程を決めて行いますので、バイトや他部活との両立もしやすくなっています。部活動全体としては、毎週水曜日の全体ミーティングがあり、連絡事項の伝達やライブの出演バンドの募集が行われます。また、BBQや海水浴、さらにはUSJへ行くなど、季節ごとのイベントも用意されています。

そして、日頃の練習の成果を発揮する場とも言えるライブは、夏と冬の部内ライブに加えて、学祭ライブや学校外のライブハウスで行われるもの、さらに招待を受けて他大学で行うこともあります。特にライブハウスと他大学でのライブは、普段はあまり交流のない外部の人の演奏を聴くことによって、多くのことを学べる機会でもあります。

新入生の皆さん、新たに始まる大学生活を、M-ROCKとともに過ごしてみませんか。入部お待ちしております。



美術部 >>>

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます！美術部について紹介します。

美術部では、部員一人一人が作りたいものを自由に制作しています。絵だけでなく、折り紙や刺しゅうなど、思い思いに作品制作を楽しみ、自分のやりたいことを追求しています。部室には油彩や水彩、色鉛筆など豊富な画材や美術関係の書籍、UVレジジン液やUVライトなどの道具が置いてあります。部室は作業スペースとしても、作品や道具を置くスペースとしても活用できます。毎年秋に開催される暁祭では作品の展示を行っています。去年は第75回北陸三県大学学生交歓芸術祭にて北陸の他の大学の美術部の方々と交流し、作品鑑賞や共同制作などを行いました。また、福井大学病院内の「かけはしギャラリー」にて作品の展示も行いました。

美術部の部室は福利棟一階にあります。自分の都合の良い時間に活動できるため兼部がしやすいです。時間的拘束がほとんどないため、思い思いに創作活動をしたい方にピッタリです。少しでも興味のある方はお気軽にお越しください！Instagramもありますので、良かったら見に来てください。

【Instagram】fukuimed_art_club



茶道部 >>>

新入生の皆様、ご入学おめでとうございます！医学部茶道部です。現在は約15名で活動していて、毎週水曜日の17時から裏千家の先生をお招きして、福利棟1階の和室で茶道のお稽古に励んでいます。また、学生茶会、芸交祭、全国学生大茶会、一般の茶会、暁祭など、県内、県外のお茶会に積極的に参加してお茶席を設けており、他大の茶道部の学生や、茶道をしている社会人との関わりも多くあります。新しく何かを始めたい人、お抹茶とお菓子が好きな人、茶道を通して日本の伝統文化や礼儀作法を学びたい人など、少しでも茶道部に興味のある方は一度体験にお越し下さい。初心者大歓迎です。お抹茶と和菓子を用意してお待ちしています。



管弦楽団 >>>

こんにちは！福井大学医学部管弦楽団です。例年40人程度で、医大生と福井県立大学の学生が合同で活動しています。メンバーは経験者から初心者まで幅広く、和気あいあいと合奏を楽しんでいます。主な活動内容は、年に一度、ハーモニーホールふくいで行う定期演奏会(2026年は4月4日に第40回記念定期演奏会があります。ぜひお越しください！)、公民館・福祉施設などでの依頼演奏、団員でアンサンブルを組んで発表し合う団内発表会、北陸三県と新潟の管弦楽団と合同で2日間に渡って交流する芸交祭、暁祭、合宿など盛りだくさんです。学校楽器の貸し出しもあり、初心者も経験者も大歓迎です！楽器を演奏してみたい、誰かと合奏をしたいと思ったら、ぜひ管弦楽団へ！

【活動日・活動場所】火曜日18:10～21:00 土曜日13:00～17:00・福利棟2階部室



文藝・漫画研究会 >>>

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます！福井大学医学部文藝漫画研究会です。

活動日は特に定まっておらず、各々が好きなタイミングで部室を開けられる非常に緩い活動となっております。活動内容も様々で、絵を描く部員もいれば、漫画を読みに来る部員、自分の好きな作品について話に来るだけの部員もいます。

一大イベントとしてはコミケ参加があります！その際は、創作ジャンル・形式問わずに作品を持ち寄って、部誌を作成・販売しています。

部室にはペンタブや様々な画材が揃っているほか、膨大な数の漫画、ボードゲームや少し昔のゲーム機などもあるので、充実した時間を送れます。

イラストを描けなくても、漫画を読んだことがなくても大丈夫です！少しでもご興味があれば、お気軽にお越しください！

救急医療系サークルALFA >>>

私たち救急医療系サークルALFAでは、主に救急ワークショップというものを通じて活動を行っています。

救急ワークショップ(以下、WS)という言葉は聞き馴染みがないかもしれませんが、簡単に説明すると「体を動かして、楽しく学ぼう!」というものです。

私たちALFAが主催することあれば、他大学が開くWSに参加することもあります。具体的には、皆さんも一度は聞いたことがある、胸骨圧迫やAED、そして医療ドラマなどで見かける気管挿管やショックなどをシミュレーターを使って行えます。このWSは北は北海道から南は沖縄まで全国の医療系学生と共に活動しており、特に金沢大学と富山大学とは同じ北陸地域として結束も強く、盛んに交流しています。昨年度からコロナによる規制も緩和され対面のWSも全国各地で復活し多くの部員が参加しました。

部員のほとんどが兼部をしており、参加も自由です。医療家ならではの救急医療サークルALFAの活動をぜひ一度体験してみませんか。



アカペラサークル MusicGlass >>>

こんにちは、福井大学医学部アカペラサークルです!

アカペラサークルでは歌うことが好きな人が集まって日々活動をしており、部員は現在30人程度です!

イベントが一年を通してたくさんあり、どれも基本的には参加自由なので入部した後も自分のペースで気軽に続けることができます。また、部員のほとんどが兼部しているので兼部の心配はいりません!

～アカペラとは～

アカペラとは声のみを使って楽曲を演奏することである。皆さんがよく耳にするJ-POPや流行りの曲、洋楽など楽器を使わずに声だけで演奏します!基本的には六人で一つのバンドを結成し、それぞれにパートを振り分けられます!

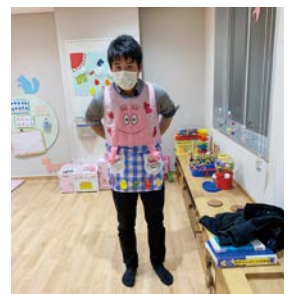
～こんな人におすすめ～

歌うことが好きな人、音楽が好きな人、カラオケが趣味の人、大歓迎です!音楽の経験がなくても大丈夫!初心者はじめの先輩もサークル内にはたくさんいますし、先輩方が優しくーから教えてくれます!



小児ボランティアサークル >>>

新入生のみなさんご入学おめでとうございます。私たち小児ボランティアサークルは平日の夕方に一時間、小児科病棟に入院している子供たちと一緒に遊んでいます。入院中の経験は、初めて経験することも多く、記憶に残りやすいです。つらかった治療の記憶もあれば、同じ病室の子と話したり遊んだりした楽しい記憶もあると思います。私はこの活動が少しでも子供たちの楽しい記憶として残ってもらえればと思っています。一緒に遊び終わって帰る時に、「もっと遊んで」とお願いしてくる子や悲しくなって泣き出す子もいます。こうした子を見ると、今日も来て良かったと感じます。私は入院している子供たちに少しでも元気を届けようと思ってこのサークルに入りましたが、実際に子供たちと遊んでいると、むしろ元気をもらっているのは私であるように感じています。遊んでいる子供の笑顔は本当に可愛いです。興味がある方、是非一緒に活動しましょう。コロナの影響により活動が難しくなっておりますが、小児科からの許可が下り次第再開します。



邦楽部 >>>

新入生のみなさん、ご入学おめでとうございます。

私たち邦楽部は週1〜月1回の約2時間、福利棟1階の和室でお箏の演奏をしています。ジブリなどの現代曲が中心で、昨年は魔女の宅急便の「海の見える街」などを練習していました。部員数10人ほどの小さいサークルなので、みんなで教え合いながら和気あいあいと活動しています。

お箏の演奏は難しそうと思われるかもしれませんが、楽譜は五線譜ではなく漢字で書かれていますので、すぐに演奏できます。部員のほとんども大学で初めてお箏に触れました。初心者大歓迎です!ゆるい雰囲気運動部と兼部している部員も多いので、テストやそれぞれの予定に合わせて活動日を決めています。

まずは体験だけでも気軽に覗いてみてくださいね。みなさんと一緒に演奏できることを楽しみにしています。



留学生交流サークルEXCHANGE >>>

私達は留学生との交流活動を行っています。具体的な活動としては、留学生の歓送迎パーティーや、福井やその近辺の観光、日常生活のお手伝いなど、留学生が楽しく快適な留学生活を送れるよう多彩な活動を行っています。活動への参加方法は、学内掲示板等のビラに記載の連絡先にご連絡いただくと、LINEグループに招待します。その後、留学生の来日期间中にグループLINEでイベントへの参加やお手伝いを募集しますので、それに応答することで自分の好きな時に活動に参加できます。部活と掛け持ちしてる人がほとんどです。留学生と友達になりたい、実践的な英語能力を身に付けたい、海外に興味があるという方は、是非お待ちしております！ コロナ禍で留学生が来日できず活動できていませんでしたが、留学の制限は緩和され、留学生もどんどん増えてきているのでこの機会に留学生と交流してみませんか？ 留学生との交流の他にも、メンバーでの英語力向上を目指した活動も定期的に設けているので是非お待ちしております。

東洋医学研究会 >>>

福井大学医学部東洋医学研究会では、日々の生活を豊かにする東洋医学に基づいた知識や、実践的な医学を早くから学ぶことができます。東洋医学は授業で扱われることが少なく、深く学ぶ機会もありありませんが、実は日常生活から医療現場まで幅広く役立つ学問です。西洋医学に加えて東洋医学の視点を持つことで、医学をより深く、そして多角的に理解できるようになります。また、養生の考え方は生活にも取り入れやすく、季節の移ろいを感じながら心身を整えるヒントにもなります。歴史とも深く結びついた学問なので、歴史好きの人にもおすすめです。当サークルは、部員が互いにゆるく学び合うスタイルなので、知識ゼロでも大丈夫！ 学会参加、北陸合同合宿、薬膳料理会、イベント出展など、東洋医学を“五感で楽しむ”企画も充実しています。他大学との交流では全国の仲間とつながることもできます。「東洋医学ってなんだろう？」と思ったそこのあなた！ ぜひ一度、東洋医学研究会へ遊びに来てください！



地域医療サークルぷちぷら >>>

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます！地域医療サークル「ぷちぷら」です！

「ぷちぷら」は「ぷち・プライマリーケア」の略です。プライマリーケアは患者さんに一番身近な医療であり、地域医療を支える大切な一部です。私たちは大学生でも実践できることを、不定期にゆるく楽しく行っています。地域の子どもたちに向けた医療イベントの企画や、夏のフィールドワーク合宿は毎年恒例です！最近ではNPO法人のお手伝いをしたり、小学生への出張授業や中学生への職場体験でお話をしたりすることもあります。

老若男女・立場を問わず、たくさんの方々とお会いする中で成長できる体験は、ぷちぷらメンバーの宝物です。自由時間にはみんなで遊んでいて、看護科も医学科も学年を越えて仲良しです！

地域医療をもっと知りたい方、ぷちぷらの和やかな雰囲気を感じたい方はぜひ一度新歓に！皆さんとお会いできることを心から楽しみにしています！

【Instagram】puchipura.puchi



D-FLAT >>>

こんにちは、災害医療サークルD-FLATです。

皆さんは「災害医療」という言葉は聞いたことがありますか？一言で言うと災害時に被災地で行われる医療のことです。災害には縁がないという方も多いとは思いますが、2023年度は元旦から能登で地震が発生したり、今後も様々な災害の発災が予想されたりしている中で、医療者としていつかは関わる可能性が高いものでもあります。

そんな、いつかは関わる「災害医療」を学生のうちから勉強してみませんか？

活動は週1回程度に災害医療にまつわる勉強会やゲームなどを自由参加でゆるく行っています。また、このサークルは2023年に新設されたサークルで、まだこれから動き始めの段階です。運営に関わりたい方も絶賛募集中です！

ぜひ気軽に覗いてみてください。

てつがくカフェ@ふくmedi >>>

てつがくカフェ@ふくmediは、答えを出す場所ではなく、問いと一緒に過ごす場所です。

「好きって何だろう」、「何を美しいと思うのか」、「自由とは何か」など、日々の暮らしに紛れた小さな問いや、心の片隅に置いておきたい問いを持ち寄り、ゆっくり言葉にしていきます。

専門知識は不要で、発言しなくても大丈夫。聞いているだけのご参加も大歓迎です。

活動は月に1回、金曜日の18時から19時半頃まで。場所は、講義棟第一小講義室で行っています。途中退出も自由で、事前申し込みはいりません。

少し考えすぎたい夜に、ふらっと立ち寄れる居場所として、てつがくカフェ@ふくmediをひらいています。

少し立ち止まって考えてみたくなったら、気楽な気持ちで足を運んでみてください。

そのままの思考で座れる席を、温めてお待ちしております。



ONCE MORE >>>

こんにちは、ONCE MORE部です！ 私たちは医学生が現役医師と気軽に話せる交流の場をつくることを目的としています。医師の働き方やプライベート、診療科選びのリアルな話など、普段は聞きにくい疑問を直接聞くことができます。福井大学病院で働く先生方の実体験を通して、将来の進路や初期研修について考えるきっかけを提供します。年に数回、講演会や食事会などのイベントを企画・運営し、楽しく学びながら人とのつながりを広げていく活動をしています。特に夏に行われるBBQでは多くの学生、先生方が参加され好評です！ 友人を増やしたい人、将来に悩んでる人、気軽に参加してください。お待ちしております！

第46回 福井大学医学部「暁祭」について

松岡キャンパスでは、毎年10月に福井大学医学部祭として「暁祭」が開催されています。今年度は2026年10月11日（日）～12日（月・祝）の2日間で開催予定です。

暁祭は、学生同士が親睦を深めるとともに、地域の皆様に本学医学部への理解を深めていただくことを目的としています。毎年恒例の学生による模擬店はもちろん、直近の開催にあたる第45回ではゲストとして「フクイノセイカ」さん、お笑いライブには「ラバーガール」さん、「本田兄妹」さんを招待し大いに盛り上がりました。

例年、ご入学される皆様に運営資金の一部をご負担していただくことをお願いしております。詳細は新入生向けにお送りしている別紙「福井大学医学部暁祭に関するお願い」をご確認いただけますと幸いです。何卒、ご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。

第46回 福井大学医学部 暁祭実行委員会



ふるさと納税制度を用いた福井大学医学部応援のお願い >>>

福井大学医学部は、福井医科大学医学科として1980年（昭和55年）に開学し、これまでに約4,070名が卒業し、第46期生が2026年から医師を目指しています。

看護学科は、1997年（平成9年）に設置され、今年29期生が入学し看護師・保健師・助産師を目指しています。

医学部では、最新の医学・看護学知識や技術のみならず、人と社会を健やかにする愛と人命を尊重する信条を学生に提供することで、グローバル社会で活躍できる優れた能力を有し、かつ社会に貢献できる愛に満ちた医療人、さらには次世代の医学・看護学を開拓できる人材を養成したいと考えています。同時に、世界レベルの画期的な研究成果を目指して基礎研究・臨床研究を行うことで、人々の病気克服と健康維持に貢献したいと思っています。そのため高い学習効果が期待できるカリキュラム作成、福井大学発のF-CES Sという実際の診療カルテにリンクした学生電子カルテを使用、語学演習室を整備し臨床に通用する英語習得、がん・神経（発達障害・認知症）・アレルギー免疫等の疾患克服を目指した先進的研究、新たな医療技術開発や地域医療、災害医療の向上を目指した研究、こころを反映した脳科学の見える化を目指しています。

今回、これら事業の実現に向けて、卒業生を含め広く学内外の皆様から永平寺町のふるさと納税制度を利用して、福井大学医学部の教育・研究活動の支援や魅力ある医学部・松岡キャンパスづくりのための環境整備等に活用させていただきたいと考えております。

次世代を担う福井大学医学部学生のために、ふるさと納税制度を活用したご寄附にご理解とご賛同を賜りますようお願い申し上げます。

今までの整備状況

福利棟一部部室を改装

- ・ はがれかけた壁紙と床を一新



カラス除けのバードピン設置

- ・ 図書館屋上



- ・ バードピン



「ふるさと納税制度を用いた福井大学医学部応援のお願い」

<https://www.med.u-fukui.ac.jp/furusato/>



「福井大学基金（羽ばたけ基金）[®]」へのご寄附のお願い

福井大学基金は、全学生を対象とした経済的に修学が困難な学生や障害のある学生への修学支援、卓越高度専門職業人育成支援を目的にしています。令和7年度は学生への物価高支援を念頭に、医学部では学生食堂定食メニューの割引提供、手作り弁当半額キャンペーン、教科書購入支援等に活用させて頂き、学生からは予想以上の反響を受けております。次世代を担う学生達を守り育てるため、皆様のご支援をどうぞよろしくお願い申し上げます。

〈学生さんからの感謝のメッセージ〉

「自宅で作るのは大変なので本当にありがたい」や「試験中はお腹がすくため食の支援は助かります」、「半額弁当を2個買ってお腹いっぱい食べます」などの感想が聞かれました。

「ふるさと納税制度を利用した福井大学基金への応援」について

「福井大学基金（羽ばたけ基金）[®]」は、福井県のふるさと納税「県内大学の魅力向上応援」からのご寄附も可能です。

福井大学基金、福井県のふるさと納税を活用したご寄附の詳細については、福井大学基金ホームページをご覧ください。 <https://www.u-fukui.ac.jp/kikin/>



医学部後援会からの お知らせ

福井大学医学部では、学生が安心して学び、実習や国家試験・課外活動等に打ち込めるよう、保護者の皆さまのご支援による後援会を設置しております。後援会の主な活動をご紹介します。



安心の保険加入

学生教育研究災害傷害保険
(学研災) 加入料

健康サポート

B型肝炎・インフルエンザなどの
予防接種

国家試験対策

国試対策模擬試験の受験料支援
(年3回)

学外実習支援

学外医療機関等への臨床実習
交通費の支援

課外活動・留学

課外活動および
留学渡航費の支援

卒業記念品の支援

卒業生の門出を祝う記念品の
贈呈

☒ 授業料以外の学生の自己負担を大幅に軽減！

☒ 勉強や活動に専念できる環境づくり！

お子さまの学びと成長を共に支える仕組みとして、
医学部後援会への**ご理解**と**ご加入**をお願いします。

医学部附属病院からのお知らせ >>>

「Resident club」の結成について

昨年度より、現役研修医で構成されるチーム「Resident club」を新たに結成しました。本チームは、医学生との距離を縮め、当院の研修プログラムにおける魅力や研修環境の素晴らしさについて情報発信を行うなど、若い世代に合わせたアプローチを企画・実行することを目的としたチームとなっています。

7月1日（火）から3日（木）には、当院プログラムに興味がある学生を対象とした就職説明会を開催し、3日間で延べ50名の参加がありました。説明会では、学生が志望するプログラムのヒアリングや、応募・マッチングシステムに関する質疑応答が行われ、学生の疑問に答える有意義な時間となりました。

さらに、7月17日（木）には、まだ初期研修先を決めかねている学生へのアプローチとして「福井大学現役研修医との!!ランチ交流会」を実施しました。お弁当を食べながら、現役研修医と気軽に交流できる場を提供し、当院の初期研修プログラムへ興味を持ってもらうきっかけとなりました。

「Resident club」は、これまで十分に手が届いていなかった医学生と附属病院とのパイプ役としての役割を果たしており、今後も医学生の皆様と様々な企画で交流していきたいと思っています。



Resident club



就職説明会

研修環境の改善について

今年度から、臨床教育研修センター長に小坂教授（精神科）、副センター長に幅田助教（精神科）が就任し、「研修医ファースト」を掲げ、研修環境の改善に努めております。

4月には、当院として初めて、研修医全員を対象とした歓迎会を開催しました。また、研修中に困っていることや悩みを直接ヒアリングする機会として「センター長との懇談会」を四半期に一度開催しており、研修医から挙げられた要望や相談事に対し、毎月定例的に改善策の検討、対応を行っております。臨床教育研修センターでは、医学生の皆様に、当院を初期研修先として選んでいただくべく、引き続き研修環境の改善に取り組んでまいります。



センター長との懇談会

福井大学医学科1年生に向けた講義について

福井大学医学科1年生に対し「福井県の医療の現状と臨床研修について」をテーマに、福井県の担当者と協働で講義を行いました。講義では、県外大学出身の研修医から、1年目、2年目研それぞれ1名ずつ発表し、福井大学を研修先として選んだ理由や、実際の研修の雰囲気等を発表しました。医学生に対し、早い段階から当院の初期研修について情報発信することは、キャリア形成の部分でも有効であり、今後も、このような機会を通じて、本学学生へ発信を行っていきたいと考えております。



福井大学医学科1年生に向けた講義

林教授によるモーニングレクチャー・院内コアレクチャーの開催について

研修センターでは、おもにプライマリ・ケアで遭遇する、Common Diseasesや見落とすと危ない疾患を中心に研修医向け勉強会「コアレクチャー」を実施しています。全科総動員で専門分野のドクターが講師となり、内容はできる限り日々の臨床に役立つ、外来でよくみる疾患に焦点を絞っています。このレクチャー・シリーズを通じて、より深い理解と知識の整理ができ、外来診療や当直の際に役立っています。

また、今年度から林教授（総合診療部）によるモーニングレクチャーを開催しており、救急外来で遭遇する疾患への対処法等について講義を行っています。何れも医学生の参加は自由ですので、興味のある方はぜひご参加ください。



コアレクチャー



林教授によるモーニングレクチャー



第120回医師国家試験出発前の1コマ
(後輩たちと円陣を組み、国試合格を誓う)

編集後記 >>> 編集委員 藤原 哲也

新入生の皆さん並びにご関係者の皆様、福井大学医学部へのご入学おめでとうございます。皆さんは将来の医療者となるために医学部で多くの学びを重ねることになります。

医学部での学生生活は、皆さんが思い描いていたものとは異なる、時に想像以上に多忙で、厳しいものになるかもしれません。高度な専門知識の習得や、実習における責任の重さなど、戸惑いや困難に直面する時もあるでしょう。膨大な学習量に圧倒され、立ち止まりたくなる瞬間もあるかもしれません。

しかし、そうした困難な日々こそが、皆さんを将来の優れた医療者へと導く貴重な機会となります。目の前の壁を乗り越えるためのたゆまぬ努力は、単に知識を増やすだけでなく、患者さんの痛みや不安に寄り添うための深い共感力や人間理解を育みます。また、予想外の忙しさの中で身につける時間管理能力や問題解決能力は、臨床現場で必ず求められるプロフェッショナルとしての幅を広げることに繋がるはずです。

医学の知識だけでなく、福井大学医学部には、学生同士が切磋琢磨し、様々な価値観に触れる機会があります。勉強や部活動、ボランティア活動など、どれもが皆さんの人間性を豊かにし、将来、多様な患者さんに対応できる柔軟で幅広い医療者となるための糧となります。

壁にぶつかった時は、この地で学ぶ仲間や私たち教職員を頼ってください。皆さんの未来が、地域医療そして世界の医療を支える光となることを心から願っています。

医学部広報誌編集委員会 >>>

委員長 山田 雅己 (分子生体情報学)

委員 藤原 哲也 (応用言語学)

委員 岩本 真幸 (分子神経科学)

委員 稲谷 大 (眼科学)

委員 礪波 利圭 (基盤看護学)

編集：松岡キャンパス学務課学生担当

福井大学では令和4年4月1日に福井県が推進する「ふくいSDGsパートナー」に登録され、今後もSDGsの達成に資する活動を実践するとともに、活動状況を積極的に配信していきます。

令和5年度から医学部広報誌「くずりゅう」は印刷冊数を減らし、インターネットで配信することでSDGsの活動に取り組みます。

